

# 保健所事業概要

平成 26 年 (2014年) 版

市立函館保健所

# 函館市民憲章

わたくしたちは、北海道の文化発祥の地、函館に住む市民です。

山と海にかこまれた美しい自然を誇り、すぐれた市民性をはぐくんできた函館を、いっそう住みよい都市に発展させるため、わたくしたち市民とまちの理想像をかかげ、ここに市民憲章を定めます。

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和52年5月3日制定)

## スポーツ健康都市宣言

わたくしたち函館市民は、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 1 スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 1 スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活を営みます。
- 1 スポーツと健康づくりを通じて、友情とふれあいの輪を世界に広がめます。

(平成4年10月10日制定)

## いきいき長寿都市宣言

憲法にうたわれている基本的人権が尊重され、いつまでも生きがいを持ち、健やかに暮らせる社会を築くことは、わたくしたち函館市民みんなの願いです。

美しい自然に恵まれ、何よりも福祉を大切にすることのうちに、共に力を合わせて、心から長寿を喜び合えるまち函館を実現することをめざし、ここに「いきいき長寿都市」を宣言します。

- 1 長い間社会の発展に尽くしてきた高齢者が、敬愛され、尊重されるまちをめざします。
- 1 豊かな知識と経験をもった高齢者が、社会の一員として自らいきいきと活動できるまちをめざします。
- 1 家庭のやすらぎと地域の温かさに包まれて暮らせるやさしいまちをめざします。
- 1 生活をより豊かにする保健、医療福祉などが充実され、いつまでも健康で安心して暮らせるまちをめざします。
- 1 だれもがひとしく憩い、集い合う安全で快適に暮らせるまちをめざします。

(平成6年12月10日制定)

# 目 次

## 【Ⅰ 概 況 編】

1 函館市の概況	
■位置, 市勢 .....	1
■位置と面積 .....	1
■人口および世帯数の推移 .....	2
■年齢階級別人口 .....	2
■人口動態 .....	2
2 函館の保健衛生史 .....	3
3 保健所の沿革 .....	6
4 組織機構	
(1) 機 構 .....	11
(2) 職員数 .....	12
(3) 事務分掌 .....	13
5 保健所関連施設 .....	14
6 予 算 .....	15
7 各種協議会・専門委員会	
(1) 市立函館保健所感染症診査協議会 .....	16
(2) 函館市予防接種健康被害調査委員会 .....	16
(3) 函館市エイズ対策推進協議会 .....	16

## 【Ⅱ 保健衛生編】

1 精神保健	
(1) 精神保健福祉相談事業 .....	17
(2) 家族支援 .....	18
(3) 普及啓発事業 .....	18
(4) 自殺予防対策事業 .....	18
(5) 依存症対策事業 .....	19
2 難病対策	
(1) 特定疾患治療研究事業, 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業 .....	20
(2) 在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成事業 .....	21
(3) 難病患者在宅療養支援計画策定・評価事業 .....	21
(4) 難病患者訪問相談事業 .....	22
(5) 難病患者訪問指導(診療)事業 .....	22
(6) 難病医療相談事業 .....	22
(7) 難病患者サポート教室 .....	22
(8) ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付状況 .....	23
(9) ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療給付事業 .....	23

3	感染症予防	
(1)	感染症発生届出数	24
(2)	H I V (エイズウイルス) 抗体検査	25
(3)	肝炎ウイルス検診	25
(4)	エキノкокクス症検診	26
(5)	結核対策	26
(6)	予防接種	29
4	保健師活動	
(1)	健康相談	30
(2)	健康教育	30
(3)	家庭訪問	31
(4)	健康診査	31
5	夜間急病センター	32
6	実習および研修の受け入れ	
(1)	実習指導	34

## 【Ⅲ 生活衛生編】

1	環境衛生	
(1)	施設および監視指導	35
(2)	市民相談	37
(3)	「函館市空き地の雑草等の除去に関する条例」の制定・施行	37
2	食品衛生	
(1)	監視指導対象施設数	38
(2)	監視指導状況	38
(3)	食品検査	41
(4)	苦情処理	42
(5)	食中毒	42
(6)	食肉検査	43
(7)	衛生教育	43
3	動物衛生	
(1)	畜犬の登録・予防注射等	44
(2)	畜犬等に関する相談・苦情	44
(3)	施設および監視指導	44
4	医務・薬事	
(1)	医務関係	45
(2)	薬事関係	47
(3)	献血	48
(4)	薬物乱用防止に関する広報・啓発活動	48
5	衛生試験所の業務	49

## 【IV 統計編】

### 第1章 人口動態統計

1	人口動態の概要	50
2	出生	53
3	死亡	56
4	乳児死亡・新生児死亡	67
5	死産	68
6	周産期死亡	69
7	婚姻・離婚	70

### 第2章 母体保護統計

1	不妊手術	71
2	人工妊娠中絶	72

### 第3章 食中毒統計

### 第4章 医療関係統計

1	医療施設	74
2	医療従事者数	75
3	人口10万人対でみた指標	75



## 本書を利用される皆様へ

- 1 本書は，平成25年（年度）の数値を記載したものである。  
なお，資料中の年表示は，暦年については1月1日～12月31日，年度は4月1日～翌年3月31日を示すものである。
- 2 数値の単位未満，平均値および指数等の算出方法は，四捨五入を原則としたため，合計数値とその内訳の累計値とは一致しない場合がある。
- 3 統計表中で使用した一般的な記号の用途は次のとおりである。
  - 「0」 ……単位未満のもの
  - 「－」 ……皆無，または該当数字のないもの
  - 「…」 ……資料がないか不明のもの
  - 「・」 ……計数のありえないもの





# I 概 況 編

- 1 函館市の概況
- 2 函館の保健衛生史
- 3 保健所の沿革
- 4 組織機構
- 5 保健所関連施設
- 6 予 算
- 7 各種協議会・専門委員会



## 1 函館市の概況

### ■位 置

函館市は、北海道の渡島半島南東部に位置し、面積677.95km<sup>2</sup>、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、気候は、積雪量も比較的少なく、温暖で恵まれた自然環境を有する生活しやすい地域である。

特に、函館市民の憩いの場ともなっている函館山は、この地帯を北限とする杉をはじめ、動植物の宝庫であるため学術的にも貴重であり、四季を通じて豊かな自然を観察することができる。

### ■市 勢

当市は、日米修好通商条約により、安政6年（1859年）に横浜・長崎とともに日本最初の国際貿易港として海外に門戸を開き、いち早く西欧文化を取り入れるなど、長い歴史と文化を有する、異国情緒豊かな街である。

平成16年12月1日には戸井町・恵山町・榎法華村・南茅部町との合併により、人口約30万人の新「函館市」が誕生、さらには、平成17年10月1日に中核市に移行し、豊かな海を擁する国内屈指の水産都市として、「函館国際水産・海洋都市構想」を推進するなど、中核市のスケールメリットを活かした、21世紀を展望したまちづくりに取り組んでいる。

当地域では、2015年度（平成27年度）末までの北海道新幹線開業を見据えた中心市街地活性化の推進をはじめ、新函館北斗駅からの二次交通の整備、自動車道の高速交通ネットワークの形成など、総合交通体系の整備拡充を図るとともに、観光資源・施設やコンベンション機能の拡充を図り、国際観光都市として世界に通用する、通年・滞在型観光を目指したまちづくりを進めているところである。

保健衛生においては、函館市総合保健センターを中核施設として、全てのライフステージを通じた健康づくりと総合的な保健サービスを提供し、市民のだれもが健康的に暮らせるまちづくりを推進しているところである。そのなかにおいて市立函館保健所は、函館市における地域保健の専門的組織として、感染症・難病対策などの専門的保健サービスのほか、食品衛生、環境衛生、医務・薬事等に関する監視指導や各種の試験・検査業務を実施している。

### ■位置と面積



位 置 : 東経140度44分

北緯41度46分

面 積 : 677.95km<sup>2</sup>

広 ぼう : 東西41.1km

南北32.8km

注：位置の基点は函館市役所の所在地。

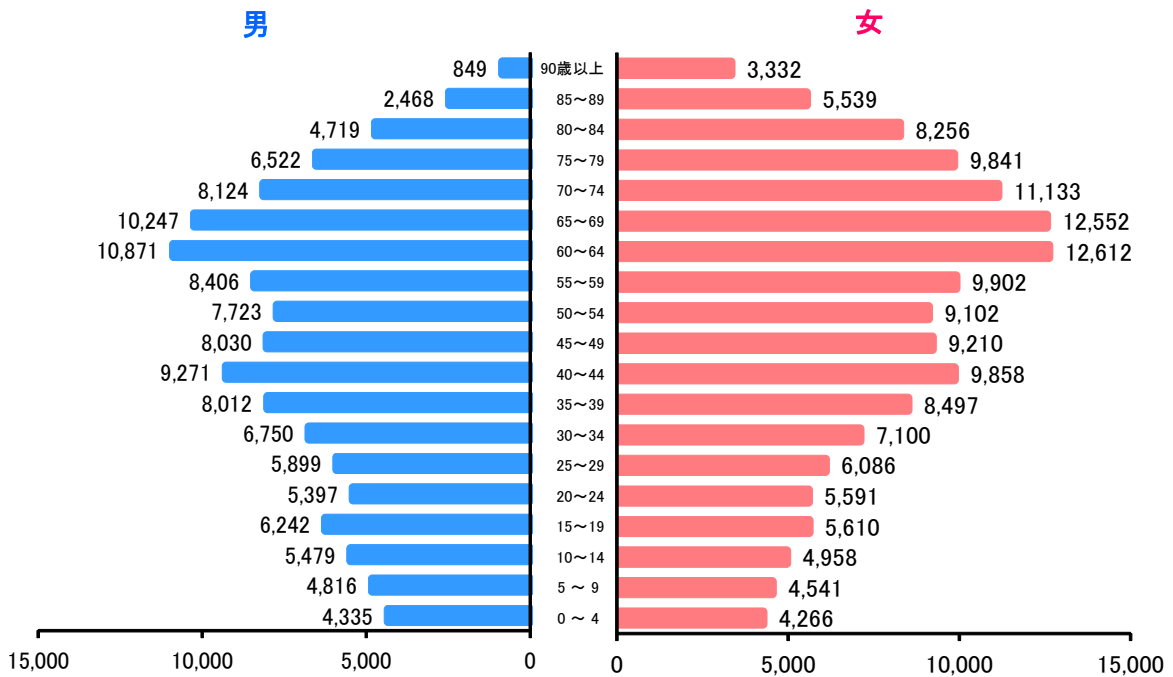


■人口および世帯数の推移

年次	世帯数	人 口			備 考
		総 数	男	女	
昭和40年	63,964	243,418	114,958	128,460	国勢調査(第10回)
45年	69,967	241,663	113,623	128,040	〃(第11回)
50年	96,723	307,453	145,386	162,067	〃(第12回)
55年	107,538	320,154	151,468	168,686	〃(第13回)
60年	110,703	319,194	149,253	169,941	〃(第14回)
平成2年	114,093	307,249	141,771	165,478	〃(第15回)
7年	119,277	298,881	137,305	161,576	〃(第16回)
12年	121,779	287,637	131,725	155,912	〃(第17回)
13年	130,203	287,742	132,781	154,961	住民基本台帳記載人口(9月30日)
14年	131,249	286,181	131,986	154,195	〃
15年	132,260	284,201	130,906	153,295	〃
16年	133,478	282,637	130,241	152,396	〃
17年	140,430	297,280	137,245	160,035	〃
18年	140,928	293,883	135,274	158,609	〃
19年	141,341	290,572	133,383	157,189	〃
20年	141,891	287,194	131,634	155,560	〃
21年	142,370	284,546	130,386	154,160	〃
22年	142,774	282,089	129,137	152,952	〃
23年	143,257	279,515	127,838	151,677	〃
24年	143,899	277,725	126,835	150,890	〃
25年	144,101	275,139	125,603	149,536	〃
26年	143,925	272,146	124,160	147,986	〃

※平成24年から外国人住民を含む。

■年齢階級別人口



(平成26年9月30日住民基本台帳)

■人口動態

年次	出 生			出生率	死 亡			死亡率	自 然 増 加	死 産	婚 姻	離 婚
	総 数	男	女		総 数	男	女					
平成21年	1,889	982	907	6.7	3,322	1,710	1,612	11.9	-1,433	87	1,427	642
22年	1,827	922	905	6.6	3,424	1,764	1,660	12.3	-1,597	84	1,320	636
23年	1,774	886	888	6.3	3,526	1,827	1,699	12.6	-1,752	90	1,303	643
24年	1,697	849	848	6.1	3,528	1,817	1,711	12.7	-1,831	58	1,282	538
25年	1,731	856	875	6.3	3,586	1,774	1,812	13.1	-1,855	55	1,248	592

## 2 函館の保健衛生史

西暦	年号	記 事
1454	享徳 3年	河野征通，渡道してウスケシ（宇須岸）に館を築く。この館の形が箱に似ていたため，この地を“箱館”と呼んだという。
1793	寛政 5年	6月，ロシア使節ラックスマン，エカテリナ号で箱館に入港。
	文政年間	中川五郎治，露国より種痘の法の伝授をうけ帰国。
1824	文政 7年	天然痘流行。
1854	安政元年	日米和親条約締結。箱館，下田開港と決まる。ペリー艦隊箱館入港。
1855	2年	日米和親条約による補給港として開港。7月，津波。
1858	5年	米国人外科医G. M. ヘーツ来住。ついで露国医師も来て箱館の医術進歩する。
1859	6年	日米修好通商条約により6月2日（太陽暦7月1日）長崎，横浜とともに，わが国最初の貿易港として開港。 娼妓のため梅毒療法を実施。
1860	万延元年	山ノ上町に箱館医学所を着工，翌年，竣工（現在の市立函館病院の前身）。
1861	文久元年	5月，犬疫流行。
1867	慶応 3年	5月，医学に長じた栗本匏庵，箱館奉行となり，6月フランスに派遣される。
1869	明治 2年	蝦夷を北海道と改称。開拓使出張所を函館に置き「箱館」を「函館」に改めたという。 10月，函館病院で強制種痘をはじめる。
1872	5年	4月，開拓使外科医長スチュワルド・エルドリッジが函館病院に着任。 8月，函館病院内に医学校を設け，官私費生を募集。
1873	6年	7月，遊廓の梅毒検査実施。
1875	8年	2月，函館地方に天然痘が発生したが，防疫に努めたことにより大流行には至らなかった。
1877	10年	コレラ流行，11月終息。患者81名中69名死亡。
1878	11年	12月，函館病院が芝居町（現船見町）の火事により類焼。
1879	12年	8月，コレラ流行，10月終息。患者102名中84名死亡。
1881	14年	7月，公立函館病院竣工。
1882	15年	6月，コレラ流行，10月終息。患者203名中145名死亡。 7月，検疫事務所を函館病院内に置く。
1885	18年	12月末現在，県立函館病院・公立豊川病院・私立梅毒病院・私立潮止病院の4病院医員19名，外に開業医61名，外国人医師1名，助産婦28名。 脚気患者889名，死亡98名。
1886	19年	7月，コレラ流行，11月終息。患者1,022名中846名死亡。 7月，天然痘流行，患者数100名中死者3分の1，翌年6月終息。
1889	22年	9月20日，上水道工事竣工。
1891	24年	天然痘再度流行し，26年に終息するまでに患者多数を出す。
1895	28年	赤痢流行，患者53名。
1899	32年	9月，コレラ流行，患者55名。衛生組合を設ける。 10月，区制実施（自治制）。
1900	33年	5月，函館病院焼失。
1902	35年	3月，区立伝染病院東川町（現新川町）に落成。 9月，コレラ流行。
1905	38年	9月，赤痢流行，39年最も激烈となり200名の患者を出したが，41年に至り減少，42年には2名にしかすぎなかった。 11月，函館病院新築。
1907	40年	8月，東川町より出火，焼失戸数12,390戸。函館病院も類焼。
1908	41年	1月，馬匹胸疫発生，6月流行終息。

1908	41年	4月, 精神病室, 函館病院から独立して区立函館精神病舎となる。
1909	42年	6月, 函館病院再築完成, 開業。
1911	44年	12月, レントゲン装置完成。
1918	大正 7年	スペインかぜ (A/H1N1) 流行。
1922	11年	8月, 市制施行。人口148,855人。
1934	昭和 9年	3月, 函館大火 (住吉町より出火)。24,186戸焼失。死者2,054人, 行方不明者662人。
1939	14年	湯川町を編入。
1946	21年	銭亀沢村の一部を函館に編入。 発疹チフス・天然痘流行。
1949	24年	亀田村字港地区を函館に編入。
1950	25年	発疹チフス流行。
1954	29年	9月, 台風15号来襲, 青函連絡船洞爺丸沈没による死者をはじめ, 多大の被害を受けた。
1957	32年	アジアかぜ (A/H2N2) 流行。
1960	35年	5月, チリ地震津波来襲, 最高水位2.13メートルにおよび臨港倉庫, 工場, 住宅が浸水被害を受けた。
1965	40年	9月, 水害発生。降雨量224.2mm (2日~7日), 流失1棟, 半壊1棟, 床上浸水976戸, 床下浸水4,806戸, 死者1名, 負傷者5名, その他被害は, 湯川町・谷地頭町をはじめ全市に及んだ。
1966	41年	12月, 銭亀沢村と合併。
1968	43年	香港かぜ (A/H3N2) 流行。 5月16日, 十勝沖地震発生, 震度5。学校をはじめ市内一円に多大の被害が発生し, 津波により朝市 (若松町) が浸水被害を受けた。
1970	45年	11月, 第22回北海道公衆衛生学会を, 函館市民会館において開催。
1973	48年	12月, 亀田市と合併。
1977	52年	5月, 「函館市民憲章」を制定。
1989	平成元年	5月, 老人保健施設が医療法人により市内で初めて開設。 11月, 市立函館病院分院ディ・ケア棟完成。
1992	4年	10月, 「スポーツ健康都市宣言」を制定。 10月, 訪問看護ステーションが社団法人北海道総合在宅ケア事業団により市内で初めて開設。
1993	5年	11月, 第45回北海道公衆衛生学会を, 函館市民会館において開催。
1994	6年	2月, 「函館市高齢者等保健・医療・福祉計画《いきいき長寿プラン21》」を福祉部等と策定。 12月, 「いきいき長寿都市宣言」を制定。
1995	7年	8月, 大雨による水害発生。降雨量162.0mm (27日~28日), 床上浸水69世帯, 床下浸水351世帯, 死者1名, 傾斜地の崩壊27件, その他被害は新湊町, 谷地頭町をはじめ全市に及んだ。
1997	9年	2月, 「障害者に関する新函館市行動計画」を福祉部等と策定。 8月, 第46回北海道公衆衛生大会を, 函館市民会館において開催。
2000	12年	2月, 「第2次函館市高齢者等保健・医療・福祉計画, 函館市介護保険事業計画」を福祉部等と策定。 4月, 介護保険制度開始。 10月, 市立函館病院を移転新築。 10月, 第44回精神保健北海道大会を, 函館市芸術ホールにおいて開催。 11月, 特例市に移行。

西暦	年 号	記 事
2003	15年	2月, 「第3次函館市高齢者等保健・医療・福祉計画, 第2期函館市介護保険事業計画」を福祉部等と策定。 3月, 「健康はこだて21」および「第2次函館市母子保健計画」を策定。 11月, 新潟県中越地震(10月23日発生)の被災地に保健師を派遣(11月2日～12月1日, 2人×4班, 新潟県長岡市)。
2004	16年	12月1日, 戸井町・恵山町・楳法華村・南茅部町と合併。
2005	17年	2月, 「函館市次世代育成支援行動計画」を福祉部等と策定。 10月1日, 中核市に移行。
2006	18年	2月, 「函館市障がい基本計画」を福祉部等と策定。 3月, 「第4次函館市高齢者等保健・医療・福祉計画, 第3期函館市介護保険事業計画」を福祉部等と策定。 4月, 障害者自立支援法施行。
2007	19年	2月, 「函館市障がい福祉計画」を福祉部等と策定。 8月, 新潟県中越沖地震(7月16日発生)の被災地に保健師を派遣(8月15日～9月1日, 2人×3班, 新潟県柏崎市)。
2008	20年	4月, 国の「麻しん排除計画」に基づき, 平成24年度までの5年間, 中学校1年生および高校3年生に相当する者への麻しん・風しん混合ワクチン接種を定期予防接種として実施。 9月, 「健康はこだて21(改訂版)」を策定。
2009	21年	3月, 「第2期函館市障がい福祉計画」を福祉部等と策定。 3月, 「第5次函館市高齢者保健福祉計画, 第4期函館市介護保険事業計画」を福祉部等と策定。 新型インフルエンザ(A/H1N1)流行。
2010	22年	4月, 「函館市普通浴場の確保を図るための指針」を策定。 6月, 「函館市温泉資源保護指針」を策定。 8月, 「函館市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定。
2011	23年	3月11日, 東北地方太平洋沖地震発生, 震度4。津波により函館駅前地区からベイエリア地区一帯が大きな被害を受けた(同地震による災害およびこれに伴う原子力発電所事故による災害を「東日本大震災」と呼称)。 3月, 東日本大震災被災地に保健師を派遣(3月18日～4月23日, 2人×7班, 岩手県宮古市)。 3月, 「函館市障がい基本計画後期推進指針」を福祉部等と策定。 3月, 「はこだてげんきな子 食育プラン(函館市食育推進計画)」を策定。
2012	24年	10月, 第55回精神保健北海道大会を, 函館市芸術ホールにおいて開催。 3月, 「第6次函館市高齢者保健福祉計画, 第5期函館市介護保険事業計画」を福祉部等と策定。 3月, 「第3期函館市障がい福祉計画」を福祉部等と策定。 4月, 組織再編により, 保健所と福祉部を統合し, 新設の保健福祉部内に保健所を位置付ける。

### 3 保健所の沿革

昭和12年 4月15日	北海道庁立函館健康相談所（千歳町2番地）を開設し、主として結核を中心とする予防対策を行う。
19年10月 1日	北海道庁所管の函館健康相談所および健康保険相談所ならびに逓信省所管の簡易保険健康相談所を合併し、保健所法による北海道函館保健所（千歳町2番地）として新発足。その担当区域は、函館市・大島村・小島村・松前町・大沢村・吉岡村・福島町・知内村・木古内町・茂別村・上磯町・大野村・七飯村・亀田村・銭亀沢村・戸井村・尻岸内村・楳法華村・臼尻村・尾札部村・鹿部村の1市4町16村と定められ、この地区の公衆衛生業務を行う。
21年 8月31日	函館簡易保険健康相談所（新川町99番地）を、第2保健所と改称する。 規則改正により、北海道庁函館治療院（大森町37番地）は廃止され、保健所における性病予防の一環として併合運営することとなり、第3保健所と改称する。
22年 5月 3日	新憲法および地方自治法の施行により、従前、警察署で所管していた旅館、浴場、飲食営業等の許可関係事務および保健衛生に関する業務が、保健所に移管される。
23年 6月10日	保健所法施行令の公布により、道立函館保健所を函館市に移管し、市立函館保健所（C級）として設置される。
9月 1日	函館市予算による名実共に市立函館保健所として発足。所長・次長・医局、医務係・薬務係・予防係・防疫係・公衆衛生係の5係で業務運営を行う。
24年 9月 1日	函館市行政機構改正により、衛生部を解体し、ここに属していた防疫係および母子衛生係を合併して、4課15係・定員60名とし、次長制を廃止する。総務課（庶務係・医務係・薬務係）、診療課（第1診療係〈結核〉・第2診療係〈母子〉・第3診療係〈性病〉・試験検査係・保健看護係・エックス線係）、衛生課（食品衛生係・乳肉衛生係・環境衛生係）、予防課（防疫係・予防係・性病係）。
25年 4月 1日	A級保健所に指定される。
8月 4日	発疹チフス流行時の防疫活動に対し、GHQ北海道本部長ジョン・エス・シワツァー氏より表彰を受ける。
11月11日	性病予防法の改正により第3保健所は廃止され、北海道立函館治療院となる。
26年 2月17日	旧市民館（西川町1番地：現豊川町1番）を改造し、移転する。 第2保健所を廃止。
4月 1日	性病診療所を併設。
4月14日	保健所事務分掌規則の一部を改正し、4課13係・定員79名とする。総務課（庶務係・医務係・薬務係）、衛生課（環境衛生係・食品獣疫係）、予防課（結核係・防疫係・母子衛生係・性病係・歯科衛生係）、保健指導課（衛生教育係・保健看護係・試験検査係）。
5月26日	市立函館保健所昇格ならびに移庁式挙行。
27年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部を改正し、総務課医務係と薬務係を合併し、医薬係とし、4課12係とする。 函館市行政機構改正により衛生課所管の市立消毒所と市立と場を保健所に併合し、衛生課は清掃課と改称され、汚物処理業務のみを行うこととなり、全般の保健衛生に関する業務は、保健所所管となる。
11月 1日	函館市優生保護相談所を併設。
29年10月 1日	と場を経済部農林課に移管。
32年 6月 8日	函館市精神衛生相談所を併設。
33年 9月15日	ふきん清掃運動および環境衛生地図を通じて、保健衛生を著しく向上させた功績により、第10回保健文化賞を受賞。 保健所創立10周年および保健文化賞受賞記念式典を挙行。

34年 3月31日	併設の性病診療所を廃止。
7月 1日	保健所事務分掌規則の改正により、4課11係・定員92名となる。庶務課（庶務係・医薬係・衛生教育係）、衛生課（環境衛生係・食品獣疫係）、予防課（結核係・防疫係・予防係・保健看護係）、衛生試験課（細菌検査係・理化学試験係）。
36年 1月 1日	U2型保健所となる。
37年 4月 1日	函館市行政機構改正により、衛生部を新設し、保健所はその管轄下に入り、3課9係定員101名となり、予防係に試験検査室を設ける。業務課（業務係・衛生教育係・医薬係）、衛生課（環境衛生係・食品獣疫係）、予防課（予防係・防疫係・結核係・保健看護係）。衛生試験課は函館市衛生試験所（細菌検査係・理化学試験係）として独立する。衛生部に庶務課（庶務係）を新設。
38年 8月 9日	函館市行政機構改正により、保健所は3課10係となる。衛生課食品獣疫係を食品衛生係と獣疫係に分ける。衛生試験所に、臨床検査係を新設。
40年 5月 1日	衛生課環境衛生係内に専任の公害担当の職員を配置。
6月30日	精神衛生法の改正により、併設の函館市精神衛生相談所を廃止。
41年12月17日	函館市野犬抑留所開設。
42年 8月17日	函館市行政機構改正により、保健所は3課10係となる。業務課（医務薬事係・衛生教育係）、衛生課（生活環境係・営業衛生係・食品衛生係・畜犬と畜係）、予防課（結核係・防疫係・予防係・保健看護係）。衛生部庶務課に管理係を新設。
45年12月 1日	函館市行政機構改正により、衛生試験所理化学試験係を食品試験係と環境試験係に分ける。
46年 3月 1日	食生活改善普及推進員制度を創設。
48年 4月17日	函館市行政機構改正により、企画部に属していた公害対策課（調整係・対策係・調査係）を衛生部に移管。
5月 1日	函館市亀田母子健康センター開設。
10月 1日	新庁舎（五稜郭町16番1号）が完成し業務を開始する。
11月 1日	新庁舎落成式典挙る。
11月12日	分庁舎（末広町）内に西部健康相談室を開設。
12月 1日	U1型保健所となる。
49年 7月24日	函館市行政機構改正により、「と畜検査室」を新設、保健所は3課1室10係となる。
50年 8月 1日	函館市行政機構改正により、公害対策課を新設の環境部に移管。
10月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、衛生課の「生活環境係」を「環境衛生係」に、予防課の「結核係」「防疫係」「予防係」を「結核成人病係」「予防係」「保健係」に改める。
51年 6月 1日	保健所庁舎内に、公設民営による夜間急病センターを開設。
6月 7日	分庁舎内にあった西部健康相談室を豊川ビル1階（豊川町1番5号）に移転し、業務を開始する。
52年 3月31日	函館市消毒所を廃止。
8月27日	第1回市民健康教室を開催。
10月31日	函館市行政機構改正により、衛生部を廃止する。これにより衛生部庶務課および保健所業務課を統合、保健所管理課として庶務係、医務薬事係、衛生教育係の3係とする。保健所事務分掌の一部改正により、「と畜検査室」を「食肉検査所」に改める。

53年 4月 1日	市民部国民保健課に属していた保健婦を保健所予防課の所属とする。
55年10月 1日	保健所庁舎内にあった夜間急病センターを、白鳥町13番32号に移設し、診療を開始する。
56年 6月 1日	健康づくりモデル地域育成事業を開始。
58年 4月 1日	老人保健法に基づく基本健康診査を保健所内および巡回により開始。 胃がん検診を医療機関委託により開始。
61年 4月 1日	函館市行政機構改正により、函館市亀田母子健康センターおよび西部健康相談室を廃止。保健所事務分掌規則の一部改正により、衛生課の「畜犬係」を「動物衛生係」に改める。
63年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、管理課の「衛生教育係」を廃止し、その事務を管理課「医務薬事係」と予防課に分掌させる。また、予防課の「保健看護係」を廃止し、主査制に改める。
10月31日	函館市野犬抑留所改築なる。
平成元年 4月 1日	乳がん検診、子宮がん検診を医療機関委託により開始。
9月26日	第1回保健所まつり（市民部所管）開催。
4年12月 1日	HIV抗体検査を開始。
5年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、管理課に「衛生行政係」を新設し、衛生課の「営業衛生係」を廃止し、その事務を「環境衛生係」と「食品衛生係」に分掌させる。 また、「予防課」を「保健予防課」に改め、4係5主査制とし、「健康増進係」「予防係」「成人保健係」「保健福祉係」の各係とする。
5年 5月 1日	運動普及推進員制度を創設。
8月12日	保健所庁舎内にエレベーターを新設し、供用開始する。
6年 9月 1日	肺がん検診を医療機関委託により開始。
7年 3月 1日	市民健康づくり推進員制度を発足。
4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、保健予防課に主幹を設ける。 保健・福祉の連携による「高齢者保健・福祉総合相談窓口」を保健所と中央福祉事務所に開設。
9月 6日	女性健康診査（骨量測定検査を含む）を開始。
9月22日	骨粗しょう症検診を開始。
8年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、保健予防課の主幹を廃止し、保健予防課を「保健予防課」と「健康増進課」に分割する。これにともない旧保健予防課の「予防係」と「保健福祉係」を廃止し、保健予防課に「感染症対策係」、 「母子保健係」、 「精神保健係」を新設する。また、健康増進課に旧保健予防課の「健康増進係」、 「成人保健係」を分掌する。 「高齢者保健・福祉総合相談窓口」を亀田福祉事務所に開設。
9年 4月 1日	市民健康まつり、市民部より移管。
6月 1日	大腸がん検診を医療機関委託により開始。
6月16日	老人性痴呆予防健康診査「はつらつ健診」を開始。
10年 3月23日	母子の健康や育児環境の向上を目指し、「函館市母子保健計画」を策定。
10月 1日	第10回市民健康まつり（実行委員会主催）開催。
11年 4月 1日	衛生試験所設置条例施行規則の一部改正により、係を廃止し、主査制を置く。 「函館市空き地の雑草等の除去に関する条例」を制定。
7月22日	
13年10月18日	牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング全頭検査を開始する。
14年 3月31日	健康診断を廃止。
4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、「衛生課」を「生活衛生課」に改める。また、保健予防課に「痴呆対策係」「難病対策係」を新設し、保健予防課の「母子保健係」を健康増進課へ移管する。
15年 3月 1日	「健康はこだて21」および「第2次函館市母子保健計画」を策定。

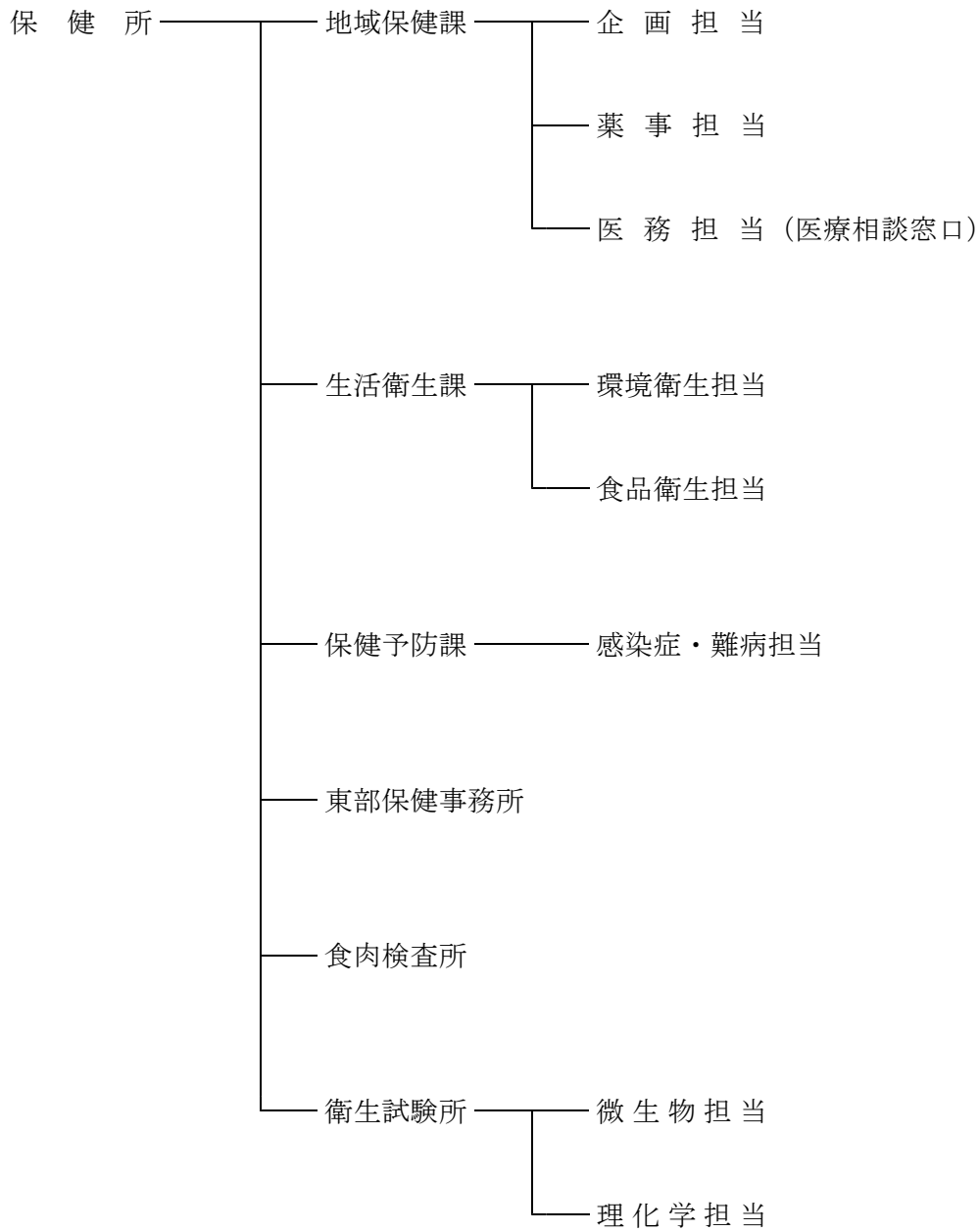
15年 4月 1日	「保健所」「衛生試験所」「健康増進センター」および「口腔保健センター」の4つの機能を有する「函館市総合保健センター」（五稜郭町23番1号）が完成し業務を開始する。 新庁舎落成式典挙行。
17年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、保健予防課の「痴呆対策係」を「認知症対策係」に改める。
11月27日	保健所来庁者駐車場に自動管理システムを導入し、供用開始する。 （供用時間 7時から21時30分まで）
18年11月29日	「函館市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定。
19年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、戸井支所、恵山支所、鍛法華支所、南茅部支所の保健衛生業務を掌る「東部保健事務所」が新設される。 また、生活衛生課、保健予防課、健康増進課において係を廃止し、主査制を置く。 衛生試験所で3担当制を2担当制とし、環境試験を廃止する。保健所の「高齢者保健・福祉総合相談窓口」を廃止する。
6月 1日	議会对応等の行政事務を所管させるため保健所参事1級を新設し、保健所長は医学的・疫学的な医師の専門分野に関する事項を所管する体制とする。 衛生試験所にノロウイルス検査機器（リアルタイムPCRシステム）を導入し、ノロウイルスの検査体制を整備する。
10月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、健康づくり推進室を新設し、健康増進課を健康づくり推進室に所属する課とする。
20年 4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により、保健所次長の廃止および医務長が新設される。 また、管理課の名称を保健企画課と改め係を廃止し、主査制を置く。医務薬事課を新設し、主査制を置く。 老人保健法が「高齢者の医療の確保に関する法律」に改正され、保健所で実施していた基本健康診査は廃止となり、新たに各医療保険者による特定健康診査と特定保健指導が開始される。 なお、函館市では市民部国保年金課所管による国民健康保険加入者への特定健康診査と、健康づくり推進室健康増進課所管による特定保健指導が6月から開始される。 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問する、こんにちは赤ちゃん事業を開始する。 函館市医療安全支援センターを保健所内に設置し、事務局を医務薬事課に置く。（医療相談窓口）
20年 9月 1日	健康体操「函館いか踊り体操」を創作。
9月29日	「健康はこだて21（改訂版）」を策定。
12月 1日	白鳥町13番32号にあった夜間急病センターを、函館市総合保健センター2階に移設、社団法人函館市医師会を管理者として指定管理者制度を導入する。 保健所来庁者駐車場の供用時間を変更する。 （供用時間 7時から翌日2時まで）
21年 4月28日	新型インフルエンザ（A/H1N1）の流行に対応するため、函館市新型インフルエンザ対策本部を設置し、各種対策を実施する。
9月 1日	女性特有のがん検診推進事業を開始する。
22年 4月 1日	地域に親しまれてきた銭湯を確保することを目的に、市が支援を行う普通浴場の基準を定めた「函館市普通浴場の確保を図るための指針」を策定。
6月 8日	温泉資源の適正利用と温泉資源保護を目的とした「函館市温泉資源保護指針」を策定。
8月12日	「函館市新型インフルエンザ対策行動計画（改訂版）」を策定。
23年 1月 1日	子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの任意予防接種事業を開始する。（※平成25年4月、定期接種化）



23年 3月29日	「はこだてげんきな子 食育プラン（函館市食育推進計画）」を策定。
4月 1日	保健所事務分掌規則の一部改正により，母子保健課を新設し，健康づくり推進室に所属する課とする。
6月 3日	自殺予防対策として，夜間の電話相談「函館いのちのホットライン」を開設。
6月21日	平成24年7月24日の地上デジタル放送への完全移行に伴い，総合保健センター周辺世帯のテレビ難視聴が解消されることから，函館市総合保健センターから各難視聴世帯に敷設していた，電波障害防除設備の撤去工事に着手（8月26日完了）。
8月21日	第23回市民健康まつり（実行委員会主催）開催。市民健康まつりの開催は，平成23年度をもって終了となる。
9月 1日	働く世代への大腸がん検診推進事業，肝炎ウイルス検診個別勧奨事業を開始する。
24年 3月22日	市立函館保健所運営協議会条例を廃止。同協議会の開催は，平成23年度をもって終了となる。
4月 1日	福祉・保健行政等の組織再編により，保健所と福祉部を統合し「保健福祉部」を，子どもに関する施策を一元的に所管する「子ども未来部」を新設する。保健所は地域保健法に規定する保健所業務を専門的に所管する組織として，保健福祉部内に位置付ける。 保健所内の組織機構については，保健所参事1級および健康づくり推進室を廃止し保健所次長を新設，保健企画課と医務薬事課を統合して地域保健課を新設し，保健予防課の精神保健・認知症担当と健康増進課は保健福祉部に，医務長および母子保健課は子ども未来部に移管する。 これらの組織再編により保健所は，地域保健課，生活衛生課，保健予防課，東部保健事務所，食肉検査所，衛生試験所の3課3所体制となる。 犬または猫の引取り手数料を新設し，犬抑留所の管理業務を民間委託する。
24年 7月11日	衛生試験所に食品の残留農薬検査機器（液体クロマトグラフ質量分析装置）を導入する。
24年12月 7日	衛生試験所に放射性物質検査機器（ゲルマニウム半導体検出器）を導入する。
25年 2月 1日	食品の放射性物質に係る依頼検査を開始する。
25年 7月 1日	全頭検査を実施してきた牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査対象月齢を「48か月超」に引き上げる。
26年 4月 1日	風しん抗体検査を開始する。
26年 4月28日	「函館市新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定。
26年 7月 1日	夜間急病センターの診療時間を30分延長する。 （診療時間 19時30分から翌日の0時30分まで）

## 4 組織機構

### (1) 機 構



(平成26年4月1日現在)

(2) 職員数（平成26年4月11日現在）

① 職位別・職種別職員数

課・担当 職 種	総 数	保健所長	保健所次長	地域保健課			生活衛生課			保健予防課 感染症・ 難病担当	東部 保健事務 所	食肉 検査所	衛生 試験所	
				計	企画 担当	薬事 担当	医務 担当	計	環境 衛生 担当					食品 衛生 担当
職員総数	58	1	1	9	3	3	3	17	9	8	11	8	6	5
職 位	所 長	1	1											
	所 次 長	1		1										
	課 長	4				*1		1	1		1	1	1	*1
	主 査	17			3	1	1	1	5	3	2	2	2	3
	一 般	35			6	2	2	2	11	5	6	8	5	3
職 種	医 師	1	1											
	獣 医 師	11						4	2	2			6	1
	薬 剤 師	3			2		1	1	1		1			
	保 健 師	15			2		1	1			6	7		
	看 護 師	1			1			1						
	臨床検査技師	2												2
	栄 養 士													
	その他(事務系)	22		1	4	3	1		11	6	5	5	1	
〃 (技術系)	3							1	1					2

\*は事務取扱および兼務職員

② 監視員等職員数

医療監視員	7	1		6		3	3							
薬事監視員	4	1		3		2	1							
食品衛生監視員	17							11	4	7			6	
環境衛生監視員	16							16	9	7				
温泉監視員	9							9	9					
狂犬病予防員	4							4	2	2				
感染症法15条4および35条	17										10	7		
と畜検査員	6												6	

(3) 事務分掌

保健所	地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の整備および管理に関すること。</li> <li>(2) 衛生行政に係る企画および調整に関すること。</li> <li>(3) 地域保健医療に関すること。</li> <li>(4) 人口動態調査および国民生活基礎調査に関すること。</li> <li>(5) 夜間急病センターに関すること。</li> <li>(6) 医療法, 医師法, 歯科医師法, 歯科衛生士法, 歯科技工士法, 診療放射線技師法, 臨床検査技師等に関する法律, 保健師助産師看護師法, あん摩マッサージ指圧師, はり師, きゆう師等に関する法律, 柔道整復師法, 栄養士法および死体解剖保存法に関すること。</li> <li>(7) 薬事法, 薬剤師法, 毒物及び劇物取締法, 麻薬及び向精神薬取締法, 大麻取締法, あへん法, 覚せい剤取締法, 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律, 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律および北海道急性中毒患者届出条例に関すること。</li> <li>(8) 医療施設等に係る調査, 指導および諸報告に関すること。</li> <li>(9) 医療相談窓口に関すること。</li> <li>(10) 母体保護法に基づく受胎調節実地指導員に関すること。</li> </ul>
	生活衛生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) そ族昆虫等に関すること。</li> <li>(2) 建築物の衛生指導に関すること。</li> <li>(3) 上水道および飲料水の衛生に関すること。</li> <li>(4) 温泉法に関すること。</li> <li>(5) 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律, 公衆浴場法, 理容師法, 美容師法およびクリーニング業法に関すること。</li> <li>(6) 墓地, 埋葬等に関する法律および北海道胞衣及び産わい物処理条例に関すること。</li> <li>(7) 食品衛生法, 製菓衛生師法, 調理師法, 食品の製造販売行商等衛生条例およびかきの処理等に関する衛生条例に関すること。</li> <li>(8) 食品衛生優良店舗の表彰に関すること。</li> <li>(9) 興行場法および旅館業法に関すること。</li> <li>(10) 狂犬病予防法に関すること。</li> <li>(11) 犬による危害の防止に関すること。</li> <li>(12) 動物の愛護及び管理に関する法律に関すること。</li> <li>(13) 化製場等に関する法律に関すること。</li> </ul>
	予防課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に関すること。</li> <li>(2) 定期の予防接種（インフルエンザおよび高齢者の肺炎球菌感染症に係るものを除く。）を除く予防接種法に関すること。</li> <li>(3) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に関すること。</li> <li>(4) 健康増進法に基づく肝炎ウイルス検診に関すること。</li> <li>(5) 感染症診査協議会に関すること。</li> <li>(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく保健所長の権限に属する事務および相談指導等に関すること。</li> <li>(7) 難病に関すること（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係るものを除く）。</li> <li>(8) 原子爆弾被爆者に対する健康診断の実施の通知等に関すること。</li> </ul>
	東部保健事務所	<p>戸井支所, 恵山支所, 椴法華支所および南茅部支所の所管区域内の次に掲げる事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に関すること。</li> <li>(2) 定期の予防接種（インフルエンザおよび高齢者の肺炎球菌感染症に係るものに限る。）に関すること。</li> <li>(3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく保健所長の権限に属する事務および相談指導等に関すること。</li> <li>(4) 難病に関すること（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係るものを除く）。</li> </ul>
	食肉検査所	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) と畜場法に関すること。</li> <li>(2) 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に関すること。</li> </ul>
衛生試験所		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 微生物学的な試験検査および調査研究ならびにこれらの指導に関すること。</li> <li>(2) 理化学的な試験検査および調査研究ならびにこれらの指導に関すること。</li> <li>(3) その他保健衛生に係る試験検査および調査研究ならびにこれらの指導に関すること。</li> </ul>

## 5 保健所関連施設

- (1) 函館市総合保健センター  
所在地 函館市五稜郭町23番1号  
敷地 5,750.67㎡  
(駐車場70台,うち身障者用2台)  
建物 7,986.96㎡  
(地上4階,塔屋階1階)  
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造



- (2) 函館市犬抑留所  
所在地 函館市見晴町36番地4  
敷地 1,712.39㎡  
建物 140.40㎡  
構造 補強コンクリートブロック造



- (3) 東部保健事務所  
所在地 函館市新浜町156番地1  
(函館市榎法華支所2階)



- (4) 食肉検査所  
所在地 函館市西桔梗町555番地5  
(株北海道畜産公社道央事業所函館工場内)  
建物 140.94㎡  
構造 木造モルタル平屋建  
(株北海道畜産公社道央事業所函館工場から借上)



## 6 予 算 (一般会計)

(単位：千円)

款 項 目	平成26年度 当初予算額	財 源 内 訳 (平成26年度分)						平成25年度 当初予算額
		特 定 財 源					一般財源	
		国 庫 支 出 金	道支出金	起 債	使用料及 び手数料	そ の 他		
衛生費	361,722	23,711	18,905	—	63,706	13,492	241,908	349,701
保健衛生費	361,722	23,711	18,905	—	63,706	13,492	241,908	349,701
保健衛生 総務費	107,245	—	12,908	—	—	13,492	80,845	105,485
総合保健 センター費	74,837	—	—	—	1,058	—	73,779	76,674
公衆衛生 費	11,009	—	—	—	287	—	10,722	10,172
健康増進 事業費	700	—	—	—	—	—	700	700
予防接種 費	99,566	—	—	—	—	—	99,566	91,204
衛生試験 所費	11,186	25	—	—	11,156	—	5	9,946
保健所費	41,131	22,176	4,755	—	2,392	—	11,808	37,766
環境衛生 費	16,048	1,510	1,242	—	48,813	—	△35,517	17,754

## 7 各種協議会・専門委員会

### (1) 市立函館保健所感染症診査協議会

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条および「市立函館保健所感染症診査協議会条例」に基づき、市長の諮問に応じ、入院勧告および入院の期間の延長ならびに医療費の負担に関する必要な事項の審議を行うため、感染症診査協議会を設置し、現在次の方々に委員を委嘱している。

#### 市立函館保健所感染症診査協議会委員（平成26年4月1日現在）

区分	氏名	公職または役職名	結核部会兼務
会長	荒谷 義和	独立行政法人国立病院機構函館病院副院長	○
委員	森 裕二	函館五稜郭病院副院長	○
〃	山田 豊	函館中央病院臨床顧問・函館市医師会理事	○
〃	酒井 好幸	市立函館病院主任医長	
〃	川合 裕紀子	元中学校校長	○
〃	山内 良輔	弁護士	○

### (2) 函館市予防接種健康被害調査委員会

函館市が実施した予防接種による健康被害の適正かつ円滑な処理を行うため、函館市予防接種健康被害調査委員会を設置し、現在次の方々を委員に指定している。

#### 函館市予防接種健康被害調査委員会（平成26年9月1日現在）

区分	氏名	公職または役職名
委員	萩沢 正博	函館市医師会副会長
〃	森 研一	函館市医師会理事
〃	要藤 裕孝	札幌医科大学講師
〃	山田 隆良	市立函館保健所長

### (3) 函館市エイズ対策推進協議会

エイズの感染予防およびまん延防止について、関係機関・団体と連携を図りながら総合的に推進するため、函館市エイズ対策推進協議会を設置し、現在次の方々を委員に指定している。

#### 函館市エイズ対策推進協議会委員（平成26年7月1日現在）

区分	氏名	公職または役職名
委員	橋本 友幸	函館市医師会副会長
〃	小葉松 洋子	函館・性と薬物を考える会会長
〃	木下 透	北海道赤十字血液センター函館事業所長
〃	佐竹 聡	函館市中学校長会
〃	赤間 幸人	北海道高等学校長協会
〃	堤 豊	市立函館病院（エイズ拠点病院）血液内科科長
〃	安藤 眞理	函館人権擁護委員連合会人権擁護委員



## Ⅱ 保健衛生編

- 1 精神保健
- 2 難病対策
- 3 感染症予防
- 4 保健師活動
- 5 夜間急病センター
- 6 実習および研修の受け入れ





# 1 精神保健

多様化した現代社会では、ストレスや高齢化などによって精神的な健康を損なう場面も多いことから、精神保健に対する正しい知識の普及をはじめ、相談や訪問等の個別支援、社会復帰への支援のほか、自殺予防対策などの事業および関連団体の支援を行っている。

また、保健・医療・福祉等に関する地域社会のニーズに応じ、精神保健福祉サービスの提供に努めている。

## (1) 精神保健福祉相談事業

精神保健に関するあらゆる相談に対し、問題解決のための援助を行うことで、患者および家族が疾病を理解し、円滑な社会生活を営むことができることを目的に実施している。

### ① 心の健康相談事業

心の健康について不安のある本人やその家族に対し、月2回精神科医がこれからの対応や関わりなどについて個別に助言している。

表1 心の健康相談

区 分	実施回数	相談件数
平成23年度	7	8
平成24年度	1	1
平成25年度	9	9

### ② 精神保健福祉相談

保健師や精神保健福祉士が、こころの健康、こころの病気に関する相談等および精神障がい者の福祉に関する相談等を行っている。

表2 精神保健相談状況

区 分		社会復帰		老人精神		アルコール		そ の 他		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来 所	電 話
相 談	平成23年度	179	25	31	49	7	16	251	784	468	874
	平成24年度	273	297	9	7	5	10	206	546	493	860
	平成25年度	249	480	24	60	8	13	207	445	488	998

### ③ 家庭訪問については、31ページ参照

(2) 家族支援

① 家族会支援

精神障がい者家族会の支援を通じて、精神障がい者が地域の中で自主的に生活できるよう支援する。

② 精神保健家族セミナー

精神障がい者を抱える家族に対して、病気と障がいに対する正しい知識・情報を提供し、家族機能の回復と強化を図っている。また、グループワークを通じて、お互いの悩みを知るとともに、家族同士が支え合い、交流しあえる場となっている。

表 3 精神保健家族セミナー実施状況

区 分	開催回数	参加者数	
		実数	延数
平成 2 3 年度	4	-	62
平成 2 4 年度	4	-	57
平成 2 5 年度	4		93

(3) 普及啓発事業

① 健康教育については、30ページ参照

(4) 自殺予防対策事業

自殺予防に関する情報の提供や知識の普及啓発の対策を実施し、うつ病と自殺予防に対する理解を深めるとともに、相談支援の充実に努めることにより、自殺者の減少を図っている。

(平成 2 5 年度)

① 関係機関との連携・情報交換

- ・函館市自殺予防対策連絡会議 年 1 回開催
- ・函館市自殺予防対策実務者会議 年 2 回開催

② 普及啓発事業

- ・自殺予防啓発カード、クリアファイルの作成・配布
- ・自殺予防パネル展の実施
- ・自殺予防講演会 平成 2 5 年 9 月 1 2 日実施。1 5 1 名参加
- ・FM いるかラジオCM 函館いのちのホットラインのPR

③ 相談支援事業

- ・「函館いのちのホットライン」 開設日 1 0 3 日 相談件数 1 3 0 件  
カウンセリングや傾聴などの知識と経験を有する相談員による電話相談を、週 2 回夜間に実施している。
- ・随時相談（自殺関連） 来所 4 件 電話 1 4 件  
保健師、精神保健福祉士による相談業務を実施している。
- ・暮らしと心の相談会（弁護士会と共催） 面接 3 件 電話 1 件

④ 人材育成事業

自殺を企図する方の身近な方々に、自殺の様々なサインをつかみ・受け止め、専門機関へつなぐ知識・技術を習得するためのゲートキーパー研修会や、自死遺族の会や函館いのちのホットライン従事者のスキルアップの研修会を開催。

- ・自殺予防ゲートキーパー研修 47名修了
- ・自死遺族のつどい従事者研修 年1回開催  
参加者 道南いのちとこころを考える市民ネット・あかり
- ・函館いのちのホットライン従事者研修 年2回開催  
参加者 ホットライン従事者

⑤ 自殺未遂者対策

- ・自殺未遂者実態調査（平成25年8月1日～10月31日の3か月間）

⑥ その他

- ・うつ病家族のつどい 9月講演会後に開催 10家族 12人参加  
3月開催 5家族 6人参加

(5) 依存症対策事業

依存症者や家族が身近な地域で支援を受けながら回復することができるよう依存症に関する普及啓発を行い、地域における依存症支援の理解を促進するとともに地域の支援体制を構築する。

(平成25年度)

① 普及啓発事業

- ・依存症フォーラム（平成25年6月29日） 89名参加
- ・依存症フォーラムPart2（平成25年12月21日） 115名参加

② その他

- ・依存症を考えるつどい 7月から開始 毎月第3土曜日 13:30～15:30

## 2 難病対策

- (1) 特定疾患治療研究事業，先天性血液凝固因子障害等治療研究事業  
 原因が不明で，治療方法が未確立であり，かつ後遺症を残す恐れが少ない疾病について，医療の確立を図るとともに，患者の負担軽減を図るため医療費等の自己負担分の全額または一部を公費負担している。実施主体は北海道で，保健所が申請手続きの窓口となっている。

表 1 - 1 特定疾患治療研究事業給付状況 (各年度末現在)

疾 患 名	受給者総数			内 訳					
				新規認定者			継 続 者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 24 年 度	2,259	757	1,502	251	111	140	2,008	646	1,362
平成 25 年 度	2,328	781	1,547	213	97	116	2,115	684	1,431
ベ ー ン 症 候 群	55	20	35	1	0	1	54	20	34
多 重 性 硬 化 症	43	11	32	1	1	0	42	10	32
全 身 性 エ リ テ モ 疹	50	15	35	2	1	1	48	14	34
再 生 不 良 性 貧 血	145	17	128	7	2	5	138	15	123
再 生 不 良 性 貧 血	7	2	5	0	0	0	7	2	5
再 生 不 良 性 貧 血	13	5	8	4	2	2	9	3	6
再 生 不 良 性 貧 血	62	13	49	7	3	4	55	10	45
再 生 不 良 性 貧 血	13	6	7	3	1	2	10	5	5
再 生 不 良 性 貧 血	98	15	83	10	3	7	88	12	76
再 生 不 良 性 貧 血	70	21	49	6	2	4	64	19	45
再 生 不 良 性 貧 血	7	1	6	2	0	2	5	1	4
再 生 不 良 性 貧 血	273	138	135	24	16	8	249	122	127
再 生 不 良 性 貧 血	14	2	12	1	0	1	13	2	11
再 生 不 良 性 貧 血	39	37	2	2	2	0	37	35	2
再 生 不 良 性 貧 血	9	4	5	0	0	0	9	4	5
再 生 不 良 性 貧 血	65	31	34	7	5	2	58	26	32
再 生 不 良 性 貧 血	91	58	33	6	5	1	85	53	32
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	4	1	3	1	0	1	3	1	2
再 生 不 良 性 貧 血	295	98	197	40	22	18	255	76	179
再 生 不 良 性 貧 血	2	0	2	0	0	0	2	0	2
再 生 不 良 性 貧 血	110	72	38	14	12	2	96	60	36
再 生 不 良 性 貧 血	2	1	1	0	0	0	2	1	1
再 生 不 良 性 貧 血	38	10	28	9	3	6	29	7	22
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	57	47	10	2	0	0	55	45	10
再 生 不 良 性 貧 血	21	6	15	3	0	3	18	6	12
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	3	0	3	0	0	0	3	0	3
再 生 不 良 性 貧 血	2	2	0	0	0	0	2	2	0
再 生 不 良 性 貧 血	59	4	55	4	1	3	55	3	52
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	42	25	17	4	3	1	38	22	16
再 生 不 良 性 貧 血	18	4	14	3	1	2	15	3	12
再 生 不 良 性 貧 血	4	3	1	0	0	0	4	3	1
再 生 不 良 性 貧 血	6	3	3	4	1	3	2	2	0
再 生 不 良 性 貧 血	41	20	21	2	1	1	39	19	20
再 生 不 良 性 貧 血	1	1	0	1	1	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	7	0	7	0	0	0	7	0	7
再 生 不 良 性 貧 血	5	1	4	1	0	1	4	1	3
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	0	0	0	1	0	1
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	1	0	1	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	5	2	3	0	0	0	5	2	3
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	0	0	0	1	0	1
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	0	0	0	1	0	1
再 生 不 良 性 貧 血	2	2	0	0	0	0	2	2	0
再 生 不 良 性 貧 血	8	3	5	2	2	0	6	1	5
再 生 不 良 性 貧 血	20	16	4	1	1	0	19	15	4
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	0	0	0	1	0	1
再 生 不 良 性 貧 血	1	0	1	0	0	0	1	0	1
再 生 不 良 性 貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再 生 不 良 性 貧 血	6	5	1	1	1	0	5	4	1
再 生 不 良 性 貧 血	44	21	23	6	1	5	38	20	18
小 計	1,862	743	1,119	182	95	87	1,680	648	1,032

表 1-2 特定疾患治療研究事業給付状況(各年度末現在)

道 指 定	疾 患 名	受給者総数			内 訳					
		計	男	女	新規認定者			継続者		
					計	男	女	計	男	女
	突 発 性 難 聴	36	8	28	0	0	0	36	8	28
	溶 血 性 貧 血	7	0	7	1	0	1	6	0	6
	ステロイドホルモン産生異常症	3	1	2	0	0	0	3	1	2
	シエンダグレン症候群	373	17	356	29	2	27	344	15	329
	難 治 性 の 肝 炎 (劇症肝炎及びウイルス性B・C型肝炎を除く)	38	6	32	1	0	1	37	6	31
	後縦靭帯骨化症(特例)	1	1	0	0	0	0	1	1	0
	特発性間質性肺炎(特例)	7	4	3	0	0	0	7	4	3
	特発性拡張型心筋症(特例)	1	1	0	0	0	0	1	1	0
	小 計	466	38	428	31	2	29	435	36	399

表 2 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業給付状況(平成25年度末現在)

疾 患 名	受給者総数			内 訳					
	計	男	女	新規認定者			継続者		
				計	男	女	計	男	女
先天性血液凝固因子障害	6	6	0	0	0	0	6	6	0

(2) 在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成事業(平成10年度開始)

本事業は在宅酸素療法および人工呼吸療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器および人工呼吸器の使用に係る電気料金の一部を助成する。実施主体は北海道で、保健所が申請手続きの窓口となっている。

表 3 在宅難病患者等酸素濃縮器使用助成認定状況

区 分	新規認定者	継続者
平成23年度	57	143
平成24年度	54	138
平成25年度	67	141

(3) 難病患者在宅療養支援計画策定・評価事業

患者等の療養上の不安解消を図るとともに、きめ細かな支援が必要な要支援難病患者に対し、適切な在宅支援が行えるよう保健、医療、福祉等関係者から成る「函館市難病地域ケアシステム推進連絡会議」を保健所に設置し、地域ケアシステムの構築を図るとともに、「難病事例検討会」を開催し、対象患者別の在宅療養支援計画の策定・評価を行い、各種サービスの適切な提供に資することを目的に実施している。

① 函館市難病地域ケアシステム推進連絡会議(平成25年度1回開催)

(4) 難病患者訪問相談事業

難病患者やその家族が抱える日常生活上および療養上の不安を緩和するため、患者のプライバシーに配慮しつつ、個別の相談、指導、助言等を行っている。

表 4 難病患者訪問相談状況

区 分	実 人 員	延 人 員
平成 2 3 年度	54	219
平成 2 4 年度	59	189
平成 2 5 年度	49	102

(5) 難病患者訪問指導（診療）事業

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上および療養上の不安を緩和するため、専門医、保健師、理学療法士等で構成する訪問指導（診療）班を派遣し、在宅療養に必要な医学的指導等を行っている。

表 5 難病患者訪問指導（診療）状況

区 分	実 人 員	延 人 員
平成 2 3 年度	6	6
平成 2 4 年度	4	4
平成 2 5 年度	2	2

(6) 難病医療相談事業

難病患者等の医療上の不安を緩和するため、難病に関する専門の医師、保健師、社会福祉士等による医療相談班を編成し、患者等の利用のし易さやプライバシーの保護に配慮した会場を設置して相談会を開催している。

表 6 難病医療相談会開催状況(平成 2 5 年度)

区 分	テ ー マ	参加者数
第 1 回	「神経難病患者の嚥下障害およびリハビリテーションについて」	36

(7) 難病患者サポート教室

療養に必要な知識や交流を深める場を提供することにより、難病患者やその家族の療養上の孤立感を緩和し、QOLの向上を図ることを目的に実施している。

表 7 難病患者サポート教室開催状況

区 分	開催回数	延参加人員 (家族含)
平成 2 3 年度	4	90
平成 2 4 年度	3	54
平成 2 5 年度	3	46

(8) ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付状況（肝炎治療特別促進事業 平成20年度開始）

B型ウイルス性肝炎およびC型ウイルス性肝炎は、インターフェロンや核酸アナログ製剤による治療が奏効すれば、その後の肝硬変、肝がんといった重篤な病態を防ぐことが可能な疾患であることから、これらの治療に係る医療費等の自己負担分の全額または一部を公費負担している。実施主体は北海道で、保健所が申請手続きの窓口となっている。

表8 ウイルス性肝炎進行防止対策医療給付状況

区 分	受 給 者 総 数
平成23年度	224
平成24年度	235
平成25年度	262

(9) ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療給付事業（平成18年度開始）

ウイルス性慢性肝炎の肝硬変への進行や肝がんの発生を防止し、患者の効果的な治療の確保を図るとともに、重症である橋本病患者の治療を支援するため医療費等の自己負担分の全額または一部を公費負担している。実施主体は北海道で、保健所が申請手続きの窓口となっている。

表9 ウイルス性肝炎進行防止対策・橋本病重症患者対策医療給付状況（平成25年度末現在）

疾 患 名	受 給 者 総 数			内 訳					
				新 規 認 定 者			継 続 者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
ウ イ ル ス 性 肝 炎	214	122	92	31	24	7	183	98	85
橋 本 病	1	0	1	1	0	1	0	0	0

### 3 感染症予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、医師・獣医師、指定届出機関からの発生届出を受理し、感染症のまん延防止のために迅速かつ的確に対応するほか、感染症発生動向を把握し、公表することにより感染症の発生予防に努めている。

また、予防接種法に基づく定期予防接種として、インフルエンザの予防接種を実施している。

(1) 感染症発生届出数

表 1 全数届出感染症患者数（各年 1 2 月末現在）

区 分	一 類 感染症	二 類 感染症 (結核を 除く)	三 類	四 類 感 染 症					五 類 感 染 症									
			腸 管 出血性 大腸菌	E型 肝炎	エキノ コック ス症	レジ オネ ラ	デ ン グ 熱	梅毒	クロイツ フェルト ヤコブ病	後天性 免疫不 全症候 群	アメ ーバ 赤痢	破 傷 風	風 し ん	ウイ ル ス 性 肝 炎 (E型, A型除く)	急 性 脳 炎	麻 し ん	侵襲性 インフ ルエン ザ菌感 染症	侵襲性 肺炎球 菌感 染症
平成 2 3 年	-	-	3	2	3	3	2	1		1	1	-	2	-	-	-	-	-
平成 2 4 年	-	-	11	1	1	4				-	1	1	1	6	-	-	-	-
平成 2 5 年	-	-	5	5	1	4	-	-		1	1	2	-	28	4	1	1	2

※届出数には市外在住者を含む。 ※結核は別頁に掲載

表 2 定点届出感染症患者数（平成 2 5 年 1 2 月末現在）

定 点	症 名	届出数	定 点	症 名	届出数	
内科・小児科	インフルエンザ	1,601	産 婦 人 科 泌 尿 器 科 基 幹	性器クラミジア感染症	128	
小 児 科	RSウイルス感染症	243		性器ヘルペスウイルス感染症	24	
	咽頭結膜熱	166		泌尿器科	尖形コンジローマ	16
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	407			淋菌感染症	27
	感染性胃腸炎	1,364		基 幹	細菌性髄膜炎	0
	水痘	370			無菌性髄膜炎	1
	手足口病	311			マイコプラズマ肺炎	5
	伝染性紅斑	6			クラミジア肺炎	0
	突発性発疹	73			感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	0
	百日咳	2			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	153
	ヘルパンギーナ	52			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0
	流行性耳下腺炎	16			薬剤耐性緑膿菌感染症	2
眼 科	急性出血性結膜炎	0	薬剤耐性アシネトバクター		0	
	流行性角結膜炎	113				

(注) 内科定点 4 カ所，小児科定点 7 カ所，眼科定点 2 カ所，産婦人科・泌尿器科定点各 1 カ所，基幹定点 1 カ所



(2) HIV（エイズウイルス）抗体検査

HIV（エイズウイルス）感染者を早期に発見し、適切な治療に結びつけることにより、後天性免疫不全症候群（エイズ）の発症または重症化を予防することを目的として検査を実施している。

表3 検査状況

区 分	HIV抗体検査件数		
	男	女	総数
平成23年度	100	100	200
平成24年度	81	70	151
平成25年度	102	89	191

(3) 肝炎ウイルス検診

B型肝炎、C型肝炎ウイルスの持続感染状態にあつて、自分自身が感染していることを自覚していない人を早期に発見し、適切な治療に結びつけることにより、重症化を予防することを目的として、検診を実施している。

従来の感染症法に基づく小学校3年生以上の全市民対象のウイルス性肝炎検査に加え、更に平成20年度から健康増進法の規定に基づき40歳を対象とした節目健診を実施し、平成23年度からは個別勧奨事業（40歳から60歳までの5歳刻みの者に個別に通知し、受診の勧奨を行う。）も実施している。

表4 肝炎ウイルス検診受診状況

区 分		HBs抗原検査 (B型肝炎)			HCV抗体検査 (C型肝炎)		
		男	女	総数	男	女	総数
平成23年度	ウイルス性肝炎検査 (小学3年生以上)	95	162	257	95	157	252
	節目健診 (40才)	20	44	64	21	44	65
	個別勧奨 (40才～60才)	465	1,145	1,610	465	1,143	1,608
平成24年度	ウイルス性肝炎検査 (小学3年生以上)	100	178	278	98	177	275
	節目健診 (40才)	18	24	42	18	24	42
	個別勧奨 (40才～60才)	386	1,015	1,401	387	1,015	1,402
平成25年度	ウイルス性肝炎検査 (小学3年生以上)	121	168	289	121	167	288
	節目健診 (40才)	19	22	41	19	22	41
	個別勧奨 (40才～60才)	356	889	1,245	356	893	1,249

(4) エキノコックス症検診

キツネなどを媒介として感染するエキノコックス症の予防と患者の早期発見，早期治療のため住民に対する検診を実施している。

表 5 検診受診状況および患者数

区 分	受診者数	受 診 結 果		確認患者
		陽 性	疑 陽 性	
平成 2 3 年度	178	-	1	-
平成 2 4 年度	163	-	2	-
平成 2 5 年度	104	-	-	-

(5) 結核対策

① 定期の健康診断

ア 学校・事業所・施設での定期健康診断

労働安全衛生法や学校保健安全法に基づき，各事業所や各学校での定期健康診断として実施している。

表 6 学校・事業所・施設での定期健康診断(平成 2 5 年度)

区 分	間 接 撮 影	直 接 撮 影	かくたん 喀痰検査	患者発見数 (疑い含む)
事 業 所	3,979	7,327	54	1
学 校	5,012	1,117	0	0
施 設	2,106	1,623	4	0
計	11,097	10,067	58	1

イ 市が実施する定期結核健康診断

総合保健センターや町会館等で行っている特定健康診査時に，65才以上を対象とした結核健康診断を実施している。

表 7 定期結核健康診断

区 分	実 施 回 数	受診者実人員	発見患者数
平成 2 3 年度	230	6,233	-
平成 2 4 年度	229	6,468	-
平成 2 5 年度	233	6,407	-

② 接触者健康診断

結核患者の同居家族や病院，事業所，学校などで結核患者と接触があり，結核にかかっていると疑うに足りる者を対象として接触者健診を実施している。

表 8 接触者健診受診状況（各年 1 2 月末現在）

区 分	患 者 家 族				そ の 他			
	受診者数	健 診 結 果			受診者数	健 診 結 果		
		異常なし	要 観 察	要 医 療		異常なし	要 観 察	要 医 療
平成 2 3 年	69	29	38	2[1]	111	67	42	2[2]
平成 2 4 年	73	38	34	1	74	26	48	0
平成 2 5 年	59	36	18	5[3]	95	58	28	9[7]

(注) [ ]内は潜在性結核感染症患者数（再掲）

③ 結核患者の登録管理

表 9 年齢階級別結核登録患者数（各年 1 2 月末現在）

区 分	総 数	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～
平成 2 3 年	79 [32]	-	-	-	-	2	4	5 [2]	4	16 [6]	48 [24]
平成 2 4 年	81 [42]	-	-	-	-	1	2 [1]	5 [2]	5 [3]	9 [5]	59 [31]
平成 2 5 年	83 [42]	-	-	-	1 [1]	1 [2]	4 [2]	1	8 [3]	16 [9]	52 [25]

(注) 潜在性結核感染症患者を除く。[ ]内は新規登録者

表 10 結核登録患者活動性分類別受療状況（平成 2 5 年 1 2 月末現在）

区 分	登 録 患者数	活 動 性 肺 結 核					計	活 動 性 肺 結 核	不 活 動	不 明	潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性 ・ 初 回 治 療	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性 ・ 再 治 療	そ の 他 結 核 性 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ 不 明						
入 院	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	
通 院	19	4	3	0	4	11	8	0	0	7	
医 療 な し	60	0	0	0	0	0	0	60	0	13	
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	83	8	3	0	4	15	8	60	0	20	

表 1 1 結核登録者数の推移(各年 1 2 月末現在)

区 分	本 年 中 登 録 者			年 間 登 録 除 外					年 末 現 在 登 録 者
	新 規	転 入	計	死 亡	観 察 不 要	転 出	そ の 他	計	
平成 2 3 年	36[ 4]	1	37	10	50[ 4]	0	4	64[ 4]	82[ 3]
平成 2 4 年	48[ 6]	2[ 1]	50[ 7]	11[ 1]	29	2[ 1]	1	43[ 2]	89[ 8]
平成 2 5 年	55[13]	2[ 1]	57[14]	15	23[ 1]	2[ 1]	3	43[ 2]	103[20]

(注) [ ] は潜在性結核感染症登録者の再掲

④ 家庭訪問指導

平成 1 7 年度から函館市地域 DOTS (直接服薬確認療法) 事業を開始し、結核患者に対する抗結核薬の確実な服用を家庭訪問等により支援している。

平成 2 1 年度から、DOTS 事業に係る支援者を拡大し、訪問看護事業所に委託することにより、きめ細やかな服薬支援を行っている。

表 1 2 家庭訪問指導件数

区 分	保 健 所 実 施 分				委 託 機 関 DOTS 実 施 分
	実 数	(再掲) DOTS	延 数	(再掲) DOTS	延 数
平成 2 3 年度	57	10	157	29	23
平成 2 4 年度	74	11	198	45	52
平成 2 5 年度	64	10	177	40	13

⑤ 精密検査

結核登録票に登録されている者で、結核の予防または医療上必要があると認めるときに精密検査を実施している。

表 1 3 精密検査状況(各年 1 2 月末現在)

区 分	精 密 検 査			
	受 診 者 数	検 査 結 果		
		異 常 な し	要 観 察	要 医 療
平成 2 3 年	103	49	52	2
平成 2 4 年	60	30	30	-
平成 2 5 年	76	24	52	-

⑥ 医療

感染症法に基づく入院勧告および入院の期間の延長ならびに結核患者の医療費公費負担申請について、感染症の診査に関する協議会で診査し、適正な医療の普及促進に努めている。

表 1 4 結核医療費公費負担申請および承認状況(平成 2 5 年 1 2 月末現在)

区 分		計
法第 3 7 条	申 請	55
	合 格	54
	承 認	54
法第 3 7 条の 2	申 請	97
	合 格	97
	承 認	97

(6) 予防接種

表 1 5 定期予防接種実施状況(平成 2 5 年度)

区 分	名 称	延接種数
B 類疾病	インフルエンザ	42, 417

## 4 保健師活動

保健師活動は、看護を基盤とする公衆衛生看護活動であり、地域住民が自らの健康について考え、個人や地域における健康のレベルアップが図られるように支援する活動である。

様々な健康状態にある個人、家族、集団に対して、健康相談、健康教育、家庭訪問、健康診査等の具体的方法を用いて働きかけを行うとともに、必要に応じて関係機関との調整を行っている。平成25年度の主な活動状況は、次のとおりである。

### (1) 健康相談

健康上の問題を抱えている市民に対し、健康相談を行っているが、近年は電話による相談が増え、その内容も多岐にわたっている。

表1 健康相談受付状況

区分	年度	母子	成人老人	感染症	精神	認知症	特定疾患	計
来所相談	平成23年度	385	1,543	46	468	23	54	2,519
	平成24年度	461	1,598	38	493	14	63	2,667
	平成25年度	143	691	75	488	16	91	1,504
電話相談	平成23年度	5,095	1,437	412	874	33	108	7,959
	平成24年度	2,530	347	510	860	24	153	4,424
	平成25年度	1,881	307	498	998	42	82	3,808

(注) 保健福祉部健康増進課・高齢福祉課・障がい保健福祉課、子ども未来部母子保健課の実績を含む。

### (2) 健康教育

#### ① 健康教室

疾病の予防および健康増進を目的に、母子および成人・老人を対象に、各種教室を総合保健センター、総合福祉センター等で開催し、必要な知識の普及を図っている。

#### ② 講師派遣

地域住民組織や事業所、官公庁等からの要請により、健康に関する集会に対して講師の派遣を行っている。

表2 健康教育実施状況(平成25年度)

区分	総数	テーマ内訳								
		感染症	精神保健	認知症	難病	母子	成人・老人	栄養・健康増進		
回数(主催・依頼)	504	8	12	29	2	41	176	236		
参加人数(主催・依頼)	14,874	335	386	325	19	2,318	3,014	8,477		
(再)講師派遣先	地域住民組織	回数	230	6	10	2	-	27	96	89
		参加数	8,698	296	330	74	-	1,872	1,827	4,299
	官公庁	回数	5	1	2	-	-	-	-	2
		参加数	148	25	56	-	-	-	-	67
	事業所	回数	12	1	-	-	1	-	-	10
		参加数	412	14	-	-	19	-	-	379
	その他	回数	56	-	-	27	2	3	24	-
		参加数	625	-	-	251	19	71	284	-
	講師派遣合計	回数	303	8	12	29	2	31	120	101
		参加数	9,883	335	386	325	19	1,962	2,111	4,745

(注) 保健福祉部健康増進課・高齢福祉課・障がい保健福祉課、子ども未来部母子保健課の実績を含む。

(3) 家庭訪問

家庭訪問指導は、在宅療養者の生活の場において、個人または家族の健康問題にかかわる支援であり、母子をはじめ、在宅寝たきり者や介護者の保健指導を関係機関と連携協力し行っている。

表3 家庭訪問指導状況(平成25年度)

区分	総数		感染症		結核		精神障がい		心身障がい	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
合計	1,756	2,408	16	16	64	177	258	508	10	41

区分	生活習慣病		特定疾患		その他の疾患		家族計画		妊産婦	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
合計	73	132	49	102	9	10	-	-	505	545

区分	乳児						幼児			
			障がい児(再掲)		未熟児(再掲)				障がい児(再掲)	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
合計	548	584	8	9	138	141	193	243	29	33

区分	災害対策		その他	
	実数	延数	実数	延数
合計	-	-	31	50

(注) 障がい児は、就学前の乳幼児。保健福祉部健康増進課・高齢福祉課・障がい保健福祉課、子ども未来部母子保健課の実績を含む。

(4) 健康診査

乳児から老人までを対象に各種健康診査を行っており、乳幼児には心身ともに健康な発育をしていけるように母子への支援を、また、成人、高齢者には各自が健康状態を把握し、生活習慣をふりかえる機会になることを目的に実施しており、保健師は保健指導を担当している。また、健診結果に応じて、家庭訪問、健康教育等による事後指導を行っている。

## 5 夜間急病センター

夜間の急病患者の診療を行い、市民の健康保持を図ることを目的として、夜間急病診療事業を実施するために、昭和51年6月、旧保健所庁舎（五稜郭町16番1号）内に函館市夜間急病センターを設置、昭和55年10月に白鳥町13番32号に移転し、設置当初から函館市医師会により運営されていた（公設民営）。

平成20年12月1日に、函館市総合保健センター2階に移転するとともに、指定管理者制度を導入し、函館市医師会を指定管理者として管理運営されている。

表1 疾患別利用者および二次病院転送者状況

区 分	急病センター利用者の科目内訳				二次病院への転送者数
	内科	小児科	外科	計	
平成23年度	8,942	6,604	4,177	19,723	634
平成24年度	9,813	5,746	4,189	19,748	670
平成25年度	9,505	5,909	4,105	19,519	574
上気道炎	3,287	1,727	14	5,028	40
インフルエンザ	609	471	1	1,081	1
気管支炎	340	603	-	943	15
熱性けいれん	1	30	-	31	11
喘息様気管支炎	3	228	-	231	5
気管支喘息	134	165	-	299	8
肺炎	16	18	-	34	14
伝染性疾患(風疹・麻疹等)	9	149	-	158	2
消化不良症	125	59	-	184	1
急性胃腸炎	1,855	1,493	2	3,350	39
胃・十二指腸潰瘍	46	1	-	47	2
肝・胆・すい疾患	9	3	-	12	-
急性腹症	169	17	-	186	77
心疾患	186	7	-	193	38
高血圧症	369	-	-	369	8
低血圧症	8	-	-	8	-
脳血管障がい	26	-	-	26	13
尿路疾患	321	32	-	353	19
神経疾患	521	28	-	549	9
じんましん	584	388	1	973	3
虫垂炎	4	3	-	7	7
中毒	7	-	-	7	4
外傷	3	9	2,633	2,645	162
交通事故	-	-	234	234	2
熱傷	-	-	170	170	1
皮膚疾患	121	93	417	631	16
耳鼻科疾患	112	247	32	391	5
産婦人科疾患	2	1	1	4	-
歯痛	41	15	10	66	1
その他	597	122	590	1,309	71



表2 曜日別利用者状況(平成25年度)

区 分		平 日	土 曜 日	日 曜 日	祝 日	合 計
開 設 日 数		240日	52日	52日	21日	365日
利用者数	総 数	10,646人	3,695人	3,521人	1,657人	19,519人
	1日平均	44.4人	71.1人	67.7人	78.9人	53.5人

表3 受付時間帯別・年齢別・救急度別利用者状況(平成25年度)

区 分		利 用 者 数		構成比率 (%)
		総 数	1日平均	
受付時間帯別	19時30分～	5,776	15.8	29.6
	20時～	5,303	14.6	27.2
	21時～	3,968	10.9	20.3
	22時～	2,564	7.0	13.1
	23時～	1,906	5.2	9.8
	0時～	2	0.0	0.0
年 齢 別	1歳未満	665	1.8	3.4
	1～5歳	3,498	9.6	17.9
	6～14歳	2,896	7.9	14.8
	15～59歳	9,009	24.7	46.2
	60歳以上	3,451	9.5	17.7
救急・非救急の 医師判断	救 急 患 者	14,481	39.7	74.3
	明日でも良かった患者	1,217	3.3	6.2
	時間内に受診すべき患者	2,878	7.9	14.7
	電話相談で良かった患者	44	0.1	0.2
	そ の 他	899	2.5	4.6

## 6 実習および研修の受け入れ

### (1) 実習指導

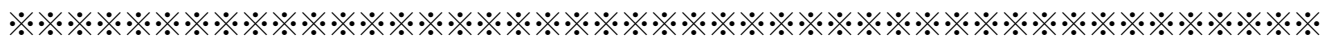
表 1 学生実習状況(平成25年度)

区 分	学校名	実習人員
保 健 師	北海道大学医学部保健学科	8名
看 護 師	市立函館病院高等看護学院	70名
	函館市医師会看護専門学校	41名
	函館看護専門学校	39名
	函館厚生院看護専門学校	41名
	北海道大学医学部保健学科	6名
薬 剤 師	北海道薬科大学薬学部薬学科	2名



### Ⅲ 生活衛生編

- 1 環境衛生
- 2 食品衛生
- 3 動物衛生
- 4 医務・薬事
- 5 衛生試験所の業務



# 1 環境衛生

市民の日常生活に密接な関係がある公衆浴場、旅館、興行場、理・美容所、クリーニング所など環境衛生営業施設に対して、関係法令に基づく許認可および各種届出受理業務を行うとともに、主として公衆衛生の見地から監視指導を実施し、これらの営業施設の衛生水準の維持向上に努めている。

家庭、地域等における良好な生活環境に係る市民からの相談については、空き地の雑草の刈り取り、ハチの巣の除去、ドクガなどの害虫駆除が大半を占めている。

## (1) 施設および監視指導

### ① 営業施設

#### ・旅館等

本年度の新規申請の件数は11施設であり、すべて営業者の変更によるものであった。  
旅館、ホテル営業等に対する監視指導については、客室などの衛生指導を実施している。

#### ・興行場

新規申請の件数は2施設であり、すべて仮設興行場であった。  
施設に対しては、衛生に必要な構造設備や措置の状況などについて立入検査を実施している。

#### ・理容所、美容所、クリーニング所

理容所については新規8施設、廃止11施設であり営業施設は382施設、美容所については新規27施設、廃止27施設であり、営業施設は635施設である。立入検査は、器具などの消毒指導を重点に行っている。

クリーニング所については、新規6施設、廃止4施設であり、営業施設は300施設である。立入検査については、特に水質汚濁防止法・下水道法の規制対象であるテトラクロロエチレンなどの溶剤を使用するクリーニング所に対し、廃液処理装置の管理など溶剤の適正な処理方法について重点的に指導を行っている。

#### ・公衆浴場

公衆浴場の営業施設は56施設であり、法および道条例に定める衛生保持の状況を調査し、不適合施設については改善指導を行っている。

### ② 水道施設

水道法の適用を受ける簡易専用水道については厚生労働大臣の登録検査機関からの報告書により維持管理の把握を行い、必要に応じて立入検査を実施し、維持管理についての指導を行っている。

また、専用水道については、適正な水質管理を行っているか等、立入検査を実施している。

### ③ プール

「函館市プール指導要領」に基づき、毎月プール維持管理報告書の提出を求め審査するとともに、立入検査を実施し、プール水の水質管理を中心に指導を行っている。

表 1 環境衛生関係施設数および監視指導数

区 分		施設数	新規件数	廃止件数	監視指導施設数		
					実 数	延 数	
平成 23 年度		2,495	106	96	476	496	
平成 24 年度		2,464	41	71	465	484	
平成 25 年度		2,459	62	63	514	542	
営業 関係 係	旅館等	ホテル	91	6	5	33	50
		旅館	108	1	1	29	39
		簡易宿所	39	4	2	5	5
		下宿	18	-	-	-	-
	興行 場	映画館	2	-	-	-	-
		スポーツ施設	1	-	-	-	-
		その他	8	2	2	3	4
	理容 美 容 所	理容所	382	8	11	86	86
		美容所	635	27	27	168	168
		クリーニング所 ※	300	6	4	6	6
		コインオペレーション	35	2	2	31	31
	公衆 浴場	普通浴場	25	1	2	23	23
		福利厚生, その他	31	-	1	-	-
	水道 施設	簡易水道事業	-	-	-	-	-
専用水道		2	-	-	2	2	
簡易専用水道		478	3	3	3	3	
井戸等		-	-	-	-	-	
その他	畜舎・家きん舎	10	-	-	-	-	
	化製場	1	-	-	-	-	
	魚介・鳥類等製造貯蔵	3	-	-	-	-	
	死亡獣畜取扱場	2	-	-	-	-	
	墓地	79	-	2	-	-	
	火葬場	4	-	-	-	-	
	納骨堂	70	2	-	2	2	
	特定建築物	125	-	1	113	113	
プー ル	10	-	-	10	10		

注) 新規件数は, 許可・届出等の件数  
 ※無店舗取次店を含む

- ④ 温泉  
温泉法に基づき、温泉利用施設の立入検査を実施している。

表2 温泉利用許可件数および立入検査数（各年度末現在）

区 分	温泉利用許可件数			立 入 検 査 数	
	許可件数	新規件数	廃止件数	実 数	延 数
平成23年度	590	19	33	19	19
平成24年度	592	7	5	7	7
平成25年度	599	11	4	17	17
宿泊施設	354	-	-	-	-
公衆浴場	160	8	4	15	15
老人福祉施設	54	2	-	1	1
病院・リハビリ施設	4	-	-	-	-
プ ー ル	-	-	-	-	-
レジャー施設	5	-	-	-	-
手・足湯	6	1	-	1	1
そ の 他	16	-	-	-	-

(2) 市民相談

市民相談処理件数は713件であり、アリやハチ等に関する相談が大半で、駆除の指導や駆除業者の紹介を行っている。また、空き地の管理に関する相談については、土地所有者や管理者に対し草刈りなどの指導を行っている。

表3 市民相談処理状況

区 分	ねずみ・昆虫等			飲料水	排 水	空地管理	そ の 他	計
	ドクガ	スズメバチ	その他					
平成23年度	-	489	266	-	-	197	-	952
平成24年度	-	142	415	-	-	141	-	698
平成25年度	2	223	354	-	1	133	-	713

(3) 「函館市空き地の雑草等の除去に関する条例」の制定・施行

空き地の雑草等を除去し良好な生活環境を確保することにより、健康で住みよい生活環境の保持および向上に寄与することを目的とし、「函館市空き地の雑草等の除去に関する条例」を平成11年7月に制定し、平成11年9月1日から施行している。

## 2 食品衛生

「食品」は、私たちの生命の源であり、健康の保持・増進に欠かせないものである。そのため、その安全性の確保は、市民の関心が高く重要な問題である。

食品の安全性の確保については、製造・流通技術の進歩や衛生管理体制の強化などにより、一定の成果が見られ、全国的に食中毒の発生件数は漸減傾向にあるが、腸管出血性大腸菌、カンピロバクター等のほか、ノロウイルスなど感染性の高い微生物による食中毒の発生状況は依然として横ばいの傾向にあり、さらなる予防対策が求められているところである。

また、食品産業の発展に伴い、商品の多様化や製造工程の複雑化が進んでいるほか、輸送技術の発達に伴う流通の広域化、輸入食品の増加など、食品を取り巻く環境も多岐にわたってきており、総合的で効果的な対策が喫緊の課題となっている。

これらの課題については、国が中心となって関係省庁の連携強化等、種々の対策が進められており、本市においても、食品に起因する市民の健康被害を未然に防止するため、食品の製造・加工・販売施設や給食施設等に対し、食品衛生監視員による監視指導を実施するとともに、市内で製造または流通している食品の収去検査を実施している。

また、食品の製造・加工・販売の各段階における総合的な衛生管理システム（HACCP）の普及を図っているほか、調理従事者・一般市民を対象とした食品衛生講習会を通じての食品衛生に関する知識の啓発、食中毒警報の発令による注意喚起等を行っている。

### (1) 監視指導対象施設数

食品衛生法に基づく許可施設数 6, 693 施設、北海道の「食品の製造販売行商等衛生条例」に基づく許可登録施設数 1, 273 施設、その他の施設数 117 施設、以上の合計 8, 083 施設が監視指導対象となっている。

### (2) 監視指導状況

食品における事故発生防止を第一として市民に安全な食品の提供を図るため、延べ 4, 885 施設に対し監視指導を実施した。

表 1 食品衛生法に基づく許可施設数および監視指導延施設数（各年度末現在）

区 分	施 設 数	許 可 件 数		期限切れ・ 廃止件数	監 視 指 導 延 施 設 数
		更 新	新 規		
平 成 2 3 年 度	6,790	920	551	658	4,325
平 成 2 4 年 度	6,705	480	553	636	4,024
平 成 2 5 年 度	6,693	664	619	631	3,905
飲 食 店 営 業	3,913	357	376	426	1,555
喫 茶 店 営 業	370	40	29	25	265
菓 子 製 造 業	337	42	38	26	360
あ ん 類 製 造 業	2	1	-	1	14
ア イ ス ク リ ー ム 類 製 造 業	17	-	-	1	32
乳 処 理 業	4	2	-	-	29
乳 製 品 製 造 業	19	1	1	-	55
乳 類 販 売 業	572	60	49	47	345
食 肉 処 理 業	13	-	2	1	10
食 肉 販 売 業	433	46	37	31	314
食 肉 製 品 製 造 業	11	1	-	2	30
魚 介 類 販 売 業	615	70	52	49	490
魚 介 類 せ り 売 営 業	8	1	-	-	2
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業	20	-	1	1	41
食 品 の 冷 凍 ま た は 冷 蔵 業	101	9	13	6	103
清 涼 飲 料 水 製 造 業	10	2	1	-	13
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業	1	1	-	-	8
氷 雪 製 造 業	17	5	-	1	6
氷 雪 販 売 業	1	-	-	-	-
食 用 油 脂 製 造 業	2	-	-	-	7
み そ 製 造 業	6	-	-	-	1
醬 油 製 造 業	2	-	1	-	2
ソ ー ス 類 製 造 業	13	2	3	-	10
酒 類 製 造 業	2	-	-	-	-
豆 腐 製 造 業	12	4	-	2	13
納 豆 製 造 業	1	-	-	-	2
め ん 類 製 造 業	14	2	1	2	19
そ う ざ い 製 造 業	162	16	13	10	164
缶 詰 ま た は 瓶 詰 食 品 製 造 業	8	-	2	-	7
添 加 物 製 造 業	7	2	-	-	8



表2 道条例に基づく許可・登録施設数および監視指導施設数（各年度末現在）

区 分	施 設 数	許 可 件 数		期限切れ・ 廃止件数	監 視 指 導 延 施 設 数
		更 新	新 規		
平 成 2 3 年 度	1,239	227	75	102	837
平 成 2 4 年 度	1,264	158	88	77	879
平 成 2 5 年 度	1,273	118	87	78	824
製 造 業	374	41	21	21	267
食 品 販 売 業	869	69	65	57	557
行 商	30	8	1	0	0

表3 その他の施設数および監視指導施設数（各年度末現在）

区 分	施 設 数	監 視 指 導 延 施 設 数
平 成 2 3 年 度	125	135
平 成 2 4 年 度	121	172
平 成 2 5 年 度	117	156
集 団 給 食 施 設	116	97
許 可 不 要 施 設	-	58
と 畜 場	1	1

(3) 食品検査

食中毒等の食品事故が発生しやすい夏期や、食品が短期間に集中する年末を中心に、販売店や製造施設から食品を収去し、食品添加物の使用基準や食品の成分規格等、法の基準への適合を確認するため行政検査を行った。

平成25年度は306検体を検査した結果、4件の表示違反があった。

市内に流通する野菜等49検体の残留農薬検査結果については、基準違反はなかった。

市内に流通する食品50検体の放射性物質検査結果については、基準違反はなかった。

表4 食品の収去検査等結果(平成25年度)

区 分	収 去 検体数	微生物検査		理化学検査		農薬検査		放射性物質検査	
		試験 件数	違反 件数	試験 件数	違反 件数	試験 件数	違反 件数	試験 件数	違反 件数
魚 介 類	12	12	-	-	-	-	-	-	-
魚 介 類 加 工 品	58	55	-	57	-	-	-	-	-
冷 凍 食 品	21	6	-	-	-	15	-	-	-
肉卵類およびその加工品	21	21	-	15	-	-	-	-	-
穀類およびその加工品	12	4	-	8	-	-	-	-	-
野菜類・果実および加工品	93	11	-	8	-	34	-	48	-
菓 子 類	36	36	-	-	-	-	-	-	-
清 涼 飲 料 水	2	-	-	-	-	-	-	2	-
酒 精 飲 料	-	-	-	-	-	-	-	-	-
缶 詰 ・ 瓶 詰 食 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳	6	6	-	6	-	-	-	-	-
乳 製 品	11	11	-	11	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	4	4	-	3	-	-	-	-	-
そ の 他 の 食 品	30	30	-	13	-	-	-	-	-
計	306	196	-	121	-	49	-	50	-

(4) 苦情処理

市民等から寄せられた苦情に対し、科学的な根拠に基づき、迅速な対応と解決にあたっている。  
平成25年度の苦情件数は74件であった。

表5 苦情処理件数(平成25年度)

区 分		総 数	異物	カビ	腐敗 変敗	異味 異臭	表示	取扱い	その他
総 数		74	10	4	3	3	7	9	38
食 品 等 別	魚 介 類	5	1	-	-	-	-	-	4
	魚 介 類 加 工 品	9	1	3	-	1	2	-	2
	冷 凍 食 品	3	1	-	-	1	-	1	-
	肉卵類およびその加工品	2	-	-	-	-	-	1	1
	穀類・野菜類・果物 およびその加工品	4	-	-	1	-	-	2	1
	菓 子 類	3	-	1	-	-	-	-	2
	清涼飲料水・酒精飲料	-	-	-	-	-	-	-	-
	缶詰・瓶詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳・乳製品・アイス クリーム類・氷菓	2	1	-	-	1	-	-	-
	そ の 他 の 食 品	23	6	-	2	-	5	3	7
	添 加 物	-	-	-	-	-	-	-	-
	器 具 ・ 容 器 包 装	1	-	-	-	-	-	-	1
	お も ち や	-	-	-	-	-	-	-	-
	施 設	22	-	-	-	-	-	2	20

(5) 食中毒

平成25年は、函館市内では食中毒は発生しませんでした。

表6 函館市内における食中毒発生状況

区 分	発生件数	患者数	死者数	原 因 場 所				
				飲食店	旅 館	家 庭	その他	不 明
平成23年	2	40	-	2	-	-	-	-
平成24年	3	32	2	2	-	1	-	-
平成25年	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 食肉検査

と畜場法に基づき、消費者に安全な食肉を提供するため、食肉検査所（西桔梗町555番地5）において、獣畜の生体から食肉になるまでの検査を全頭実施している。（表7）  
 なお、と畜検査のながれは、次のとおりである。

- ① 獣畜の搬入（牛、馬、豚、めん羊および山羊の5種類）
- ② 生体検査（人獣共通感染症等の疾病の有無）
- ③ 解体検査（内臓の検査を行い、必要に応じ精密検査を実施し、食用不適時は廃棄処分）
- ④ 枝肉検査（枝肉の検査を行い、必要に応じ精密検査を実施し、食用不適時は廃棄処分）
- ⑤ 合格・検印
- ⑥ 枝肉・内臓を搬出して食肉販売業者を通じ消費者へ

また、伝達性海綿状脳症（TSE）<sup>※</sup>のスクリーニング検査を実施している。（表8）

検査は、延髄を材料としてエライザ法（酵素免疫測定法）により行い、異常プリオンの有無を確認するものである。

牛については平成13年10月18日以降、全頭検査を行ってきたが、平成25年7月1日に法改正され、対象が48か月齢を超えるものとなった。

なお、めん羊および山羊については平成17年10月1日以降食肉処理される12か月齢以上のものが対象である。

（注）平成17年10月1日に法が改正され、牛海綿状脳症を伝達性海綿状脳症に、BSEをTSEに名称を変更し、めん羊および山羊に関することが追加された。

表7 食肉検査状況

区 分	総 数	牛		馬		豚	めん羊 山 羊
		牛	こ 牛	馬	こ 馬		
平成23年度	38,691	7,069	17	25	-	31,270	310
平成24年度	39,061	7,153	8	27	-	31,501	372
平成25年度	38,352	6,670	11	22	-	31,330	319

表8 TSEスクリーニング検査結果

区 分	畜 種	検査頭数	陰性頭数	陽性頭数
平成23年度	牛	7,086	7,086	-
	めん羊・山羊	109	109	-
平成24年度	牛	7,161	7,161	-
	めん羊・山羊	193	193	-
平成25年度	牛	2,026	2,026	-
	めん羊・山羊	141	141	-

※平成25年7月から、牛の検査対象が48か月齢超となる。

(7) 衛生教育

食品衛生思想の啓発を図るため、食品関係者や一般市民に対する衛生教育を実施した。

表9 衛生講習会実施状況（平成25年度）

対 象 者	実施回数	受講者数
食品関係従事者	26	1,755
一 般 市 民	16	402
計	42	2,157

### 3 動物衛生

「狂犬病予防法」および「函館市犬による危害の防止等に関する条例」に基づき、犬による人畜に対する危害および環境汚染を防止するため、各種事業を実施している。また、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、犬および猫の引取りを実施している。

その他に、「化製場等に関する法律」に基づき、化製場等の施設に対して監視指導を実施している。

#### (1) 畜犬の登録・予防注射等

畜犬の登録および狂犬病予防注射を、市内委託動物病院や狂犬病予防注射期間中には集合注射会場を定め、実施している。また、飼い主に狂犬病について理解してもらい、未登録・未注射犬が生じないように指導している。

表 1 畜犬登録数

区 分	畜犬登録数	予防注射数
平成 2 3 年度	15,863[ 892]	9,425
平成 2 4 年度	15,568[ 792]	9,188
平成 2 5 年度	15,453[ 721]	8,813

(注) [ ]内は新規登録頭数

#### (2) 畜犬等に関する相談・苦情

畜犬等に関する相談・苦情のうち最も多いのは、犬の捕かく依頼で80件あった。捕かくした頭数は129頭で、85頭を返還した。

表 2 畜犬等に関する苦情状況

区 分	苦情処理	咬傷事件	飼育管理指導	動物の愛護及び管理に関する法律第35条第1項の規定に基づく引取り		動物の愛護及び管理に関する法律第35条第3項の規定に基づく引取り	
				犬	猫	犬 ※ 1	猫
平成 2 3 年度	257	9	39	46	88	83	688
平成 2 4 年度	269	4	70	48	123	140	447
平成 2 5 年度	225	6	39	24	45	129	408

※ 1 狂犬病予防法に基づく抑留犬を含めている。

※ 2 平成 2 4 年 7 月 1 日から動物の愛護及び管理に関する法律第 3 5 条第 1 項の規定に基づく犬または猫の引取りについて手数料を徴収している。

#### (3) 施設および監視指導

「化製場等に関する法律」に基づく施設は、化製場 1，死亡獣畜取扱場 2，第 8 条準用施設 4 の計 7 施設があり、畜舎については指定区域内に厩舎 5，山羊舎 1，犬舎 3 の合計 9 施設があった。これらの施設から悪臭やハエが発生しないように衛生管理指導を行っている。

## 4 医務・薬事

医務・薬事等関係施設に対して、関係法令に基づく許認可および各種届出受理業務を行うとともに、立入検査を実施し医療等水準の維持向上に努めているほか、医師・歯科医師・薬剤師・看護師等医療従事者の各種免許申請等についての受付業務を行っている。

また、医療相談窓口を開設し、医療に関する相談業務を行っているほか、献血推進および薬物乱用防止のための啓発活動等の業務を行っている。

### (1) 医務関係

#### ① 施設および立入検査

市内の医務関係施設数および立入検査数の内訳は、次のとおりである。

表 1 医務関係施設数および立入検査数

区 分	施 設			立 入 検 査 数	
	施 設 数	新規開設	廃 止	実 数	延 数
平成 23 年度	740	32	28	132	132
平成 24 年度	738	36	38	135	135
平成 25 年度	726	33	46	142	142
病 院	29	0	0	29	29
診 療 所	223	21	25	66	66
歯 科 診 療 所	133	5	9	46	46
助 産 所	1	0	0	0	0
あ ん 摩 はり・きゅう 施 術 所	173	1	4	-	-
柔 道 整 復 施 術 所	85	4	5	-	-
歯 科 技 工 所	78	2	3	-	-
衛 生 検 査 所	4	-	-	1	1

(注) 施設数は各年3月末現在、立入検査数は年度分

- ② 医務免許関係処理件数  
免許申請等の内訳は、次のとおりである。

表 2 医務免許関係処理件数

区 分	総 数	免許申請	書換交付	再 交 付	そ の 他
平 成 2 3 年 度	808	417	230	33	128
平 成 2 4 年 度	820	447	225	26	122
平 成 2 5 年 度	753	404	213	17	118
医 師 法	16	2	5	3	6
歯 科 医 師 法	2	1	1	-	-
薬 剤 師 法	11	5	4	2	-
保 健 師 助 産 師 看 護 師 法	395	228	158	9	-
歯 科 技 工 士 法	1	-	1	-	-
診 療 放 射 線 技 師 法	15	10	4	1	-
臨床検査技師等に関する法律	15	11	4	-	-
理学療法士法・作業療法士法	73	55	17	-	-
視 能 訓 練 士 法	1	1	-	-	-
栄 養 士 法	112	91	19	2	-
そ の 他	112	-	-	-	112

- ③ 医療相談件数  
医療に関する相談等の件数は、次のとおりである。

表 3 医療相談件数

区 分	総 数	病 院	診 療 所	歯 科 診 療 所	薬 局	そ の 他
平 成 2 3 年 度	146	50	54	5	2	35
平 成 2 4 年 度	158	56	42	9	4	47
平 成 2 5 年 度	162	61	33	10	4	54

## (2) 薬事関係

## ① 施設および立入検査

市内の薬事関係施設数および立入検査数の内訳は、次のとおりである。

表4 薬事関係施設数および立入検査数

区 分	施 設			立 入 検 査 数	
	施 設 数	新規開設	廃 止	実 数	延 数
平成 23 年度	1,706	123	73	160	160
平成 24 年度	1,716	120	110	164	164
平成 25 年度	1,785	134	62	136	136
1 薬局	182	19	16	19	19
2 医薬品販売業					
(1)卸売販売業	54	2	1	4	4
(2)薬種商販売業	1	0	0	0	0
(3)配置販売業	24	0	3	3	3
(4)店舗販売業	73	3	3	22	22
(5)特例販売業(1種)	12	0	1	1	1
(6)特例販売業(2種)	1	0	0	0	0
3 医薬品製造業					
(1)専業	1	0	0	0	0
(2)薬局	8	0	0	0	0
4 医薬部外品製造業	-	-	-	-	-
5 医療機器製造業	-	-	-	-	-
6 医療機器販売業					
(1)高度管理医療機器	168	53	11	49	49
(2)管理医療機器	956	35	16	6	6
7 毒物・劇物輸入業・製造業	2	0	0	0	0
8 毒物劇物販売業					
(1)一般販売業	117	9	7	7	7
(2)農業用品目販売業	10	0	0	0	0
(3)特定品目販売業	10	1	0	0	0
9 届出を要する毒物劇物業務上取扱者	1	0	0	0	0
10 麻薬取扱施設(卸・小売業者)	153	12	4	16	16
11 覚せい剤施用機関	0	0	0	0	0
12 覚せい剤原料取扱者	6	0	0	9	9
13 採血業	1	0	0	0	0
14 化粧品製造業	5	0	0	0	0
15 その他(学校, 農家等)	-	-	-	-	-

(注) 施設数は各年3月末現在、立入検査数は年度分



② 麻薬および覚せい剤

麻薬および向精神薬取締法，覚せい剤取締法に基づく許認可等の業務取扱状況は，次のとおりである。

表5 麻薬および向精神薬取締法，覚せい剤取締法に基づく許可業務取扱状況

区 分	総 数	免許指 定申請	変更届	廃 棄	業 務 廃止届	麻 薬 中 毒	麻 薬 受渡届	その他
平成 23 年度	1,129	472	104	145	52	-	301	55
平成 24 年度	1,191	534	95	157	51	-	292	62
平成 25 年度	1,026	506	27	131	40	-	279	43
麻薬および向精神薬取締法	1,006	500	27	129	33	-	279	38
覚せい剤取締法	12	3	0	2	3	-	-	4
大麻取締法	8	3	-	-	4	-	-	1

(3) 献血

① 献血推進協議会

当市では，北海道赤十字血液センター函館事業所の協力のもと，献血の普及啓発活動を行っている。

夏は7月を「愛の血液助け合い運動」月間と位置づけ，街頭献血，冬は「はたちの献血キャンペーン」と称し，成人祭での広告を含む啓蒙活動に努めている。

② 献血の状況

当市内における平成25年度の献血実績は次のとおりで，400mlの全血献血数は，北海道赤十字血液センター函館事業所が目標としていた数値を下回ったものの，200ml献血は目標数を上回り，全体として目標を達成することができた。

表6 献血実績(平成25年度)

区 分	200ml 献 血	400ml 献 血	成分献血	合 計 (200ml換算値)
目 標 数(本)	2,010	10,510	2,200	14,720
献 血 数(本)	2,725	10,048	2,379	15,152
目標達成率(%)	135.6	95.6	108.1	102.9

(4) 薬物乱用防止に関する広報・啓発活動

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のヤング街頭キャンペーンにおいて，北海道薬物乱用防止指導員等が中心となり，ヤングボランティア等の協力により，啓発用ティッシュ等の配布を行っている。

## 5 衛生試験所の業務

衛生試験所は、各種試験・検査・研究を通じ、保健および衛生の向上を図る目的で設立され、次の2部門に分かれ業務を行っている。

- ・微生物担当…腸管系病原菌，水質細菌，食品細菌検査等
- ・理化学担当…食品添加物，農薬検査等

平成25年度の試験検査実績は次のとおりである。

表1 試験検査実績(平成25年度)

区分	種 別		件 数	区分	種 別		件 数
細	腸管系病原菌等	腸内感染症病原菌	3,436	食	成分規格(牛乳および加工乳)		29
		腸管出血性大腸菌	3,161		〃 (乳製品)		13
		その他の病原菌	2		〃 (清涼飲料水)		0
		ふん便寄生虫卵	795		器具および容器包装		0
菌	水質細菌	飲料水細菌	0	品	食品添加物(定性)		14
		一般細菌数	0		〃 (定量)		217
		大腸菌群数	11		有害成分		27
		腸管出血性大腸菌	6		金属類		21
		大腸菌群最確数	12		水素イオン濃度		63
		レジオネラ属菌	11		一般成分		141
検	食品細菌	一般生菌数	347	験	農薬		72
		大腸菌群数	317		家庭用品		20
		その他の細菌	575		放射能		124
		腸管出血性大腸菌	64		有機水銀		0
		大腸菌群最確数	22		小 計		741
		顕微鏡検査	0		総 計		9,592
査	特殊なもの		36				
	ノロウイルス検査		56				
	小 計		8,851				



## IV 統計編

### 第1章 人口動態統計

- 1 人口動態の概要
- 2 出生
- 3 死亡
- 4 乳児死亡・新生児死亡
- 5 死産
- 6 周産期死亡
- 7 婚姻・離婚

### 第2章 母体保護統計

- 1 不妊手術
- 2 人工妊娠中絶

### 第3章 食中毒統計

### 第4章 医療関係統計

- 1 医療施設
- 2 医療従事者数
- 3 人口10万人対でみた指標





# 第1章 人口動態統計

## 1 人口動態の概要

人口動態統計は、平成25年1月1日から平成25年12月31日までに日本において発生した日本人の事件を客体とし、そのうち函館市に住所を有する者の事件を集計した確定数である。

なお、集計にあたっては、厚生労働省から提供を受けた人口動態調査の調査票情報を利用した。各表の比率の計算は、平成25年9月30日現在の外国人を除いた住民基本台帳人口（274,325人）を算定基礎とし、函館市が算出した。

また、北海道、全国の数値については厚生労働省が公表した確定数である。

### (1) 総括

①出生…1,731人（男856人，女875人） 出生率6.3（人口千対率）  
前年比34人の増加で、出生率は前年を0.2ポイント上回った。  
また、合計特殊出生率は1.25である。

②死亡…3,586人（男1,774人，女1,812人） 死亡率13.1（人口千対率）  
前年比58人の増加で、死亡率は前年を0.4ポイント上回った。  
原因別死亡者数では、悪性新生物（がん），心疾患，脳血管疾患によるものが全体の約53%を占めている。  
また、死亡原因の順位は、第1位が悪性新生物（がん），第2位が心疾患，第3位が肺炎となっている。

### 死亡原因の上位5死因

死亡順位	死 因	死 亡 者 数			死亡総数に占める割合
		総 数	男	女	
1	悪性新生物（がん）	1,063	567	496	29.6%
2	心 疾 患	582	249	333	16.2%
3	肺 炎	425	251	174	11.9%
4	脳 血 管 疾 患	264	126	138	7.4%
5	その他の循環器系疾患	166	89	77	4.6%

③死産…55胎 死産率30.8（出産千対率）  
前年比3胎の減少で、死産率は前年を2.2ポイント下回った。

④婚 姻…1,248組 婚姻率4.5（人口千対率）  
前年比34組の減少で、婚姻率は前年を0.1ポイント下回った。  
初婚の平均年齢は夫30.0歳，妻28.6歳で，夫は前年と比べ0.5歳早婚化し，妻は前年と比べ0.8歳早婚化した。

⑤離 婚…592組 離婚率2.16（人口千対率）  
前年比54組の増加で，離婚率は前年を0.22ポイント上回った。  
結婚生活に入ってから同居をやめたときまでの期間別離婚割合をみると，1年未満7.4%，1～5年未満22.8%，5～10年未満21.6%，10～15年未満13.9%，15～20年未満9.3%，20年以上16.6%，不詳8.4%となっている。

## (2) 人口動態, 実数・率・年次別

年次	出生		死亡		乳児死亡 (再掲)		新生児死亡 (再掲)		死産		周産期死亡		婚姻		離婚	
	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率	総数	率
S. 25	6,377	27.8	2,322	10.2	289	45.3	96	15.1	553	79.8	206	32.3	1,890	8.3	362	1.58
30	4,036	16.7	1,980	8.2	139	34.4	65	16.1	560	121.8	133	32.9	2,035	8.4	377	1.55
35	3,821	15.7	1,822	7.5	106	27.7	55	14.4	537	123.1	138	36.1	2,436	10.0	326	1.34
40	4,035	16.6	1,813	7.4	82	20.3	52	12.9	496	109.4	105	26.0	2,556	10.5	367	1.51
41	3,438	14.2	1,726	7.1	69	20.1	41	11.9	475	121.4	76	22.1	2,499	10.3	371	1.53
42	4,386	17.4	1,802	7.2	67	15.3	49	11.2	461	95.1	121	27.6	2,435	9.7	396	1.57
43	4,144	16.6	1,799	7.2	57	13.8	35	8.4	379	83.8	85	20.0	2,275	9.1	368	1.65
44	3,992	16.2	1,828	7.4	54	13.5	37	9.3	381	87.1	85	21.0	2,273	9.2	383	1.55
45	3,992	16.5	1,830	7.6	65	16.3	42	10.5	367	84.2	76	19.0	2,404	9.9	436	1.80
46	4,045	16.9	1,731	7.2	61	15.1	42	10.4	359	81.5	67	16.8	2,510	10.5	433	1.81
47	4,008	16.9	1,722	7.3	58	14.5	42	10.5	358	82.0	84	21.2	2,503	10.6	422	1.78
48	4,243	18.2	1,762	7.6	40	9.4	30	7.1	359	78.0	66	15.6	2,362	10.1	480	2.06
49	5,483	18.1	2,029	6.7	60	10.9	37	6.7	451	76.0	76	13.9	2,938	9.7	498	1.64
50	5,210	16.9	1,985	6.5	61	11.7	46	8.8	421	74.8	83	15.9	2,729	8.9	554	1.80
51	4,918	15.8	2,002	6.4	50	10.2	39	7.9	458	85.2	64	13.0	2,639	8.5	621	2.00
52	4,781	15.2	1,985	6.3	47	9.8	34	7.1	390	75.4	66	13.8	2,382	7.6	616	1.96
53	4,653	14.7	2,146	6.8	50	10.7	38	8.2	352	70.3	56	11.8	2,444	7.7	679	2.15
54	4,468	14.0	2,012	6.3	39	8.7	28	6.3	343	71.3	52	11.6	2,344	7.4	681	2.14
55	4,137	12.9	2,062	6.4	29	7.0	19	4.6	384	84.9	49	11.4	2,338	7.3	727	2.27
56	4,181	13.0	2,120	6.6	22	5.3	16	3.8	333	73.8	35	8.4	2,212	6.9	839	2.62
57	3,952	12.3	2,086	6.5	28	7.1	22	5.6	368	85.2	42	10.9	2,172	6.8	838	2.61
58	3,880	12.1	2,160	6.7	30	7.7	12	3.1	317	75.5	27	7.0	2,126	6.6	915	2.84
59	3,835	11.9	2,150	6.7	33	8.6	19	5.0	354	84.4	34	8.9	2,102	6.5	861	2.67
60	3,573	11.2	2,249	7.0	24	6.7	14	3.9	287	73.4	24	6.7	1,968	6.2	819	2.57
61	3,291	10.3	2,149	6.7	21	6.4	14	4.3	304	84.6	27	8.2	1,886	5.9	812	2.55
62	3,165	10.0	2,176	6.9	20	6.3	9	2.8	257	75.1	22	6.9	1,827	5.8	670	2.12
63	3,107	9.9	2,189	7.0	20	6.4	13	4.2	226	67.8	21	6.8	1,778	5.7	639	2.04
H. 1	2,880	9.3	2,162	7.0	8	2.8	2	0.7	239	76.6	11	3.8	1,767	5.7	648	2.09
2	2,778	9.1	2,248	7.3	14	5.0	9	3.2	230	76.5	20	7.2	1,836	6.0	624	2.03
3	2,666	8.7	2,258	7.4	17	6.4	10	3.8	217	75.3	17	6.4	1,843	6.0	666	2.18
4	2,567	8.5	2,300	7.6	11	4.3	6	2.3	179	65.2	11	4.3	1,819	6.0	674	2.22
5	2,545	8.4	2,429	8.1	11	4.3	5	2.0	159	58.8	8	3.1	1,822	6.0	704	2.34
6	2,534	8.5	2,414	8.1	9	3.6	2	0.8	166	61.5	12	4.7	1,785	6.0	674	2.25
7	2,444	8.2	2,569	8.6	10	4.1	5	2.0	84	33.2	19	7.7	1,866	6.3	653	2.19
8	2,348	7.9	2,535	8.6	8	3.4	6	2.6	88	36.1	9	3.8	1,863	6.3	746	2.52
9	2,241	7.7	2,544	8.7	3	1.3	2	0.9	85	36.5	15	6.7	1,756	6.0	767	2.62
10	2,273	7.8	2,537	8.7	5	2.2	3	1.3	121	50.5	16	7.0	1,725	5.9	767	2.64
11	2,271	7.9	2,728	9.4	9	4.0	6	2.6	122	51.0	23	10.1	1,655	5.7	778	2.69
12	2,153	7.4	2,763	9.5	5	2.3	2	0.9	101	44.8	12	6.0	1,700	5.9	844	2.92
13	2,080	7.3	2,581	9.0	9	4.3	4	1.9	123	55.8	14	6.7	1,674	5.9	848	2.97
14	2,024	7.1	2,559	9.0	3	1.5	2	1.0	129	59.9	14	6.9	1,581	5.6	954	3.36
15	2,063	7.3	2,748	9.7	8	3.9	2	1.0	120	55.0	15	7.2	1,565	5.5	872	3.09
16	1,946	6.9	2,790	9.9	3	1.5	2	1.0	110	53.5	5	2.6	1,482	5.3	858	3.06
17	1,947	6.6	3,096	10.5	6	3.1	5	2.6	103	50.2	10	5.1	1,535	5.2	790	2.69
18	1,947	6.7	3,201	11.0	4	2.1	1	0.5	94	46.1	14	7.1	1,500	5.2	729	2.51
19	1,948	6.8	3,106	10.8	5	2.6	2	1.0	90	44.2	6	3.1	1,427	5.0	717	2.50
20	1,891	6.7	3,233	11.4	7	3.7	3	1.6	97	48.8	9	4.7	1,402	5.0	656	2.32
21	1,889	6.7	3,322	11.9	2	1.1	1	0.5	87	44.0	5	2.6	1,427	5.1	642	2.29
22	1,827	6.6	3,424	12.3	9	4.9	4	2.2	84	44.0	9	4.9	1,320	4.7	636	2.29
23	1,774	6.3	3,526	12.6	1	0.6	1	0.6	90	48.3	5	2.8	1,303	4.7	643	2.30
24	1,697	6.1	3,528	12.7	2	1.2	-	-	58	33.0	7	4.1	1,282	4.6	538	1.94
25	1,731	6.3	3,586	13.1	2	1.2	2	1.2	55	30.8	8	4.6	1,248	4.5	592	2.16

(注) 乳児死亡率, 新生児死亡率は出生千対, 死産率は出産千対, その他は人口千対率, 死産数は自然死産と人工死産の合算値

## (3) 人口動態, 実数・月別(平成25年)

月 別	出 生	死 亡	乳児死亡 (再掲)	新 生 児 死 亡 (再掲)	死 産	周産期死亡		婚 姻	離 婚
						後 期	早 期		
総 数	1,731	3,586	2	2	55	6	2	1,248	592
1 月	144	344	-	-	7	-	-	86	41
2 月	136	304	-	-	2	-	-	123	44
3 月	147	311	-	-	3	-	-	121	50
4 月	151	292	-	-	5	1	-	91	48
5 月	148	281	-	-	9	1	-	90	61
6 月	151	243	-	-	4	1	-	119	57
7 月	155	295	1	1	6	-	1	110	51
8 月	146	291	-	-	5	2	-	88	43
9 月	162	296	1	1	3	-	1	86	50
10 月	122	276	-	-	3	-	-	83	56
11 月	122	315	-	-	1	-	-	138	40
12 月	147	338	-	-	7	1	-	113	51

## (4) 人口動態, 率(平成25年)

区 分	出 生	死 亡	乳児死亡 (再掲)	新 生 児 死 亡 (再掲)	死 産	周産期	婚 姻	離 婚
函館市	6.3	13.1	1.2	1.2	30.8	4.6	4.5	2.16
北海道	7.1	11.0	2.2	1.1	28.8	3.6	4.9	2.09
全 国	8.2	10.1	2.1	1.0	22.9	3.7	5.3	1.84

(注) ・乳児死亡率, 新生児死亡率は出生千対, 死産率, 周産期死亡率は出産千対, その他は人口千対率

・死産数は, 自然死産と人工死産の合算値

## 2 出生

### (1) 出生数・率, 年次別

年次	出生数			出生率(人口千対)		
	総数	男	女	函館市	北海道	全国
S. 25	6,377	3,282	3,095	27.8	34.2	28.1
30	4,036	2,049	1,987	16.7	21.7	19.4
35	3,821	2,004	1,817	15.7	18.6	17.2
40	4,035	2,069	1,966	16.6	18.7	18.6
45	3,992	2,054	1,938	16.5	17.7	18.8
50	5,210	2,679	2,531	16.9	16.8	17.1
55	4,137	2,146	1,991	12.9	13.6	13.6
60	3,573	1,854	1,719	11.2	11.7	11.9
H. 2	2,778	1,408	1,370	9.1	9.7	10.0
7	2,444	1,234	1,210	8.2	8.8	9.6
8	2,348	1,194	1,154	7.9	8.8	9.7
9	2,241	1,148	1,093	7.7	8.6	9.5
10	2,273	1,174	1,099	7.8	8.6	9.6
11	2,271	1,152	1,119	7.9	8.2	9.4
12	2,153	1,090	1,063	7.4	8.2	9.5
13	2,080	1,119	961	7.3	8.2	9.3
14	2,024	1,032	992	7.1	8.2	9.2
15	2,063	1,019	1,044	7.3	8.0	8.9
16	1,946	1,032	914	6.9	7.8	8.8
17	1,947	983	964	6.6	7.4	8.4
18	1,947	1,002	945	6.7	7.6	8.7
19	1,948	984	964	6.8	7.5	8.6
20	1,891	989	902	6.7	7.4	8.7
21	1,889	982	907	6.7	7.3	8.5
22	1,827	922	905	6.6	7.3	8.5
23	1,774	886	888	6.3	7.2	8.3
24	1,697	849	848	6.1	7.1	8.2
25	1,731	856	875	6.3	7.1	8.2

### (2) 合計特殊出生率, 年齢階級別女子人口・出生児数, 年次別

区分	総数	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	合計特殊出生率			
		19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	市	道	全国	
21	出生児数	1,889	39	250	559	678	312	48	3	1.19	1.19	1.37
	女子人口	57,267	6,297	6,696	7,093	8,592	10,019	9,355	9,215			
22	出生児数	1,827	28	264	536	592	355	51	1	1.19	1.26	1.39
	女子人口	56,142	6,243	6,403	6,857	8,177	9,928	9,326	9,208			
23	出生児数	1,774	26	232	518	611	335	51	1	1.19	1.25	1.39
	女子人口	54,991	6,084	6,105	6,681	7,838	9,658	9,721	8,904			
24	出生児数	1,697	27	213	494	533	362	66	2	1.17	1.26	1.41
	女子人口	53,848	5,936	5,806	6,505	7,516	9,365	9,644	9,076			
25	出生児数	1,731	27	228	482	619	314	61	-	1.25	1.28	1.43
	女子人口	52,774	5,769	5,637	6,262	7,224	8,937	9,762	9,183			

(注) 合計特殊出生率は15歳から49歳までの女子の年齢階級別出生率を合計したものであり、15歳から19歳までの年齢階級及び45歳から49歳までの年齢階級にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。



## (3) 出生数, 施設・立会者・年次別

年次	総数	出生施設				立会者		
		病院	診療所	助産所	自宅 その他	医師	助産師	その他
H. 21	1,889	1,018	869	-	2	1,850	39	-
22	1,827	1,035	789	-	3	1,792	34	1
23	1,774	1,091	683	-	-	1,734	40	-
24	1,697	1,046	646	1	4	1,672	24	1
25	1,731	1,092	639	-	-	1,695	36	-

## (4) 出生数, 出生順位・年次別

年次	総数	第1児	第2児	第3児	第4児	第5児以上	不詳
H. 20	1,891	913	716	210	39	13	-
21	1,889	948	641	252	38	10	-
22	1,827	894	659	206	56	12	-
23	1,774	851	622	235	49	17	-
24	1,697	855	585	207	35	15	-
25	1,731	858	610	201	48	14	-

## (5) 出生数, 母の年齢階級・年次別

年次	総数	～14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50歳～	不詳
S. 25	6,377	...	125	1,592	2,280	1,418	742	218	...	...	2
30	4,036	...	51	1,009	1,661	895	340	80	...	...	-
35	3,821	...	49	939	1,828	767	192	45	...	...	1
40	4,035	...	54	1,071	1,840	844	194	32	...	...	-
45	3,992	...	67	1,106	1,786	815	194	24	...	...	-
50	5,210	...	61	1,385	2,663	889	185	27	...	...	-
55	4,137	...	62	796	2,054	1,029	172	24	...	...	-
60	3,573	...	39	698	1,578	975	258	25	...	...	-
H. 2	2,778	...	41	468	1,239	810	190	29	...	...	1
7	2,448	-	58	451	951	723	225	39	1	-	-
8	2,348	-	46	428	896	716	236	26	-	-	-
9	2,241	-	52	394	859	679	226	30	-	-	1
10	2,273	-	43	419	855	692	246	18	-	-	-
11	2,271	-	41	376	875	689	254	35	1	-	-
12	2,153	-	51	367	813	676	214	31	1	-	-
13	2,080	-	34	346	797	643	230	29	1	-	-
14	2,024	-	44	340	713	656	244	27	-	-	-
15	2,063	-	55	321	716	661	271	39	-	-	-
16	1,946	-	33	299	707	642	229	34	2	-	-
17	1,947	1	60	301	593	706	251	34	1	-	-
18	1,947	-	38	307	618	656	277	50	1	-	-
19	1,948	1	25	286	583	713	304	34	2	-	-
20	1,891	-	33	305	536	646	323	48	-	-	-
21	1,889	-	39	250	559	678	312	48	3	-	-
22	1,827	-	28	264	536	592	355	51	1	-	-
23	1,774	-	26	232	518	611	335	51	1	-	-
24	1,697	1	26	213	494	533	362	66	2	-	-
25	1,731	-	27	228	482	619	314	61	-	-	-

(注) 14歳以下及び45歳以上での出産数は平成7年より統計開始。

## (6) 出生数, 出生時体重・年次別

年次	総数	低体重児					小計	2,500 ～ 3,999g	4,000g ～	不詳
		～ 999g	1,000 ～ 1,499g	1,500 ～ 1,999g	2,000 ～ 2,499g					
H. 21	1,889	8	10	25	144	187	1,689	13	-	
22	1,827	11	25	22	141	199	1,609	18	1	
23	1,774	2	6	16	148	172	1,588	14	-	
24	1,697	5	5	16	142	168	1,507	22	-	
25	1,731	3	3	25	133	164	1,551	16	-	
(男)	856	2	2	13	56	73	771	12	-	
(女)	875	1	1	12	77	91	780	4	-	

## (7) 出生時の平均体重, 最高体重・最低体重, 性・年次別

年次	平均体重(g)		最高体重(g)		最低体重(g)	
	男	女	男	女	男	女
H. 21	3,036	2,976	4,320	4,156	549	757
22	3,032	2,955	4,306	4,244	426	950
23	3,073	2,983	4,216	4,170	546	1,056
24	3,068	2,982	4,338	4,538	404	748
25	3,059	2,974	4,384	4,710	667	327

### 3 死 亡

#### (1) 死亡数・率, 年次別

年 次	死 亡 数			死 亡 率 (人口千対)		
	総 数	男	女	函館市	北海道	全 国
S. 25	2,322	1,213	1,119	10.2	10.0	10.9
30	1,980	1,105	875	8.2	6.9	7.8
35	1,822	986	836	7.5	6.3	7.6
40	1,813	1,008	805	7.4	6.1	7.1
45	1,830	985	845	7.6	6.2	6.9
50	1,985	1,074	911	6.5	5.8	6.3
55	2,062	1,095	967	6.4	5.8	6.2
60	2,249	1,172	1,077	7.0	6.1	6.3
H. 2	2,248	1,192	1,056	7.3	6.5	6.7
7	2,569	1,378	1,191	8.6	7.2	7.4
8	2,535	1,353	1,182	8.6	7.2	7.2
9	2,544	1,332	1,212	8.7	7.2	7.3
10	2,537	1,355	1,182	8.7	7.3	7.5
11	2,728	1,462	1,266	9.4	7.8	7.8
12	2,763	1,490	1,273	9.5	7.7	7.7
13	2,581	1,340	1,241	9.0	7.7	7.7
14	2,559	1,421	1,138	9.0	7.8	7.8
15	2,748	1,456	1,292	9.7	8.2	8.0
16	2,790	1,439	1,351	9.9	8.4	8.2
17	3,096	1,621	1,475	10.5	8.9	8.6
18	3,201	1,687	1,514	11.0	9.0	8.6
19	3,106	1,669	1,437	10.8	9.3	8.8
20	3,233	1,676	1,557	11.4	9.6	9.1
21	3,322	1,710	1,612	11.9	9.7	9.1
22	3,424	1,764	1,660	12.3	10.1	9.5
23	3,526	1,827	1,699	12.6	10.4	9.9
24	3,528	1,817	1,711	12.7	10.7	10.0
25	3,586	1,774	1,812	13.1	11.0	10.1

#### (2) 死亡数, 年齢階級・年次別

区 分	平 成 2 5 年			平成24年	平成23年	平成22年	平成21年
	計	男	女				
総 数	3,586	1,774	1,812	3,528	3,526	3,424	3,322
0 歳	2	-	2	2	1	9	2
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	1	1
3	-	-	-	1	-	1	1
4	-	-	-	-	-	-	-
0 ~ 4	2	-	2	3	1	11	4
5 ~ 9	-	-	-	1	-	-	-
10 ~ 14	1	1	-	-	-	1	-
15 ~ 19	2	1	1	2	2	3	-
20 ~ 24	6	4	2	5	9	9	10
25 ~ 29	8	5	3	6	8	6	9
30 ~ 34	8	2	6	13	8	9	14
35 ~ 39	23	15	8	22	17	13	23
40 ~ 44	16	10	6	31	28	27	23
45 ~ 49	32	22	10	35	41	41	39
50 ~ 54	58	38	20	70	54	57	85
55 ~ 59	110	67	43	111	112	138	149
60 ~ 64	199	119	80	185	209	205	171
65 ~ 69	233	143	90	226	247	243	261
70 ~ 74	358	247	111	334	359	339	329
75 ~ 79	477	280	197	457	475	499	520
80 ~ 84	607	342	265	670	637	631	580
85 ~ 89	708	299	409	674	645	582	550
90 ~ 94	446	130	316	450	447	393	372
95 ~ 99	243	44	199	188	183	174	148
100 ~	49	5	44	45	44	43	35
65 ~ (再掲)	3,121	1,490	1,631	3,044	3,037	2,904	2,795

## (3) 死亡順位, 年齢階級別(平成25年)

区分	死亡数	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
		死因	数	死因	数	死因	数	死因	数	死因	数
全体	3,586	悪性新生物	1,063	心疾患	582	肺炎	425	脳血管疾患	264	他循環器	166
0歳	2	その他の 周産期に特異的な 呼吸障害及び心血管障害	1	新生児の呼吸窮迫	1	—	—	—	—	—	—
1～4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5～9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10～14	1	悪性新生物	1	—	—	—	—	—	—	—	—
15～19	2	悪性新生物	1	心疾患	1	—	—	—	—	—	—
20～24	6	自殺	3	不慮の事故	1	大動脈瘤及び解離	1	悪性新生物	1	—	—
25～29	8	自殺	6	肺炎	1	他内分泌	1	—	—	—	—
30～34	8	自殺	3	他循環器	1	悪性新生物	1	敗血症	1	循環器系の先天奇形	1
35～39	23	自殺	6	悪性新生物	5	肺炎	2	糖尿病	2	心疾患	1
40～44	16	悪性新生物	6	自殺	4	不慮の事故	2	心疾患	1	脳血管疾患	1
45～49	32	悪性新生物	10	心疾患	6	自殺	4	脳血管疾患	3	他循環器	3
50～54	58	悪性新生物	24	心疾患	8	自殺	7	他循環器	3	不慮の事故	3
55～59	110	悪性新生物	51	脳血管疾患	9	心疾患	8	他循環器	6	肝疾患	4
60～64	199	悪性新生物	91	心疾患	25	脳血管疾患	14	他循環器	10	肝疾患	7
65～69	233	悪性新生物	125	心疾患	20	脳血管疾患	14	他循環器	13	肺炎	10
70～74	358	悪性新生物	150	心疾患	42	脳血管疾患	32	肺炎	23	他循環器	20
75～79	477	悪性新生物	178	肺炎	56	心疾患	54	脳血管疾患	34	他循環器	25
80～84	607	悪性新生物	182	心疾患	98	肺炎	89	脳血管疾患	53	他呼吸器	28
85～89	708	悪性新生物	142	心疾患	136	肺炎	108	脳血管疾患	56	他循環器	37
90～94	446	心疾患	96	悪性新生物	73	肺炎	71	老衰	45	脳血管疾患	36
95～99	243	心疾患	73	肺炎	45	老衰	43	悪性新生物	20	他循環器	9
100～	49	老衰	17	心疾患	13	肺炎	6	悪性新生物	2	脳血管疾患	2
65～ (再掲)	3,121	悪性新生物	872	心疾患	532	肺炎	408	脳血管疾患	235	老衰	153

(注) 0歳児は乳児死因分類, それ以外は死因順位分類による  
死因名は次のように略称した。

心疾患: 心疾患(高血圧性を除く)  
他呼吸器: その他の呼吸器系の疾患  
他循環器: その他の循環器系の疾患

他神経系: その他の神経系の疾患  
他新生物: その他の新生物  
他内分泌: その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患

## (4) 死亡数・率・割合、主要死因・性別(平成25年)

区 分	死 亡 数			構 成 割 合 (%)			死 亡 率 (人口10万対)	
	総 数	男	女	総 数	男	女	函館市	全 国
全 体	3,586	1,774	1,812	100.0	100.0	100.0	1307.2	1009.1
1 悪性新生物 (2100)	1,063	567	496	29.6	32.0	27.4	387.5	290.3
2 心疾患 (高血圧性を除く) (9200)	582	249	333	16.2	14.0	18.4	212.2	156.5
3 肺炎 (10200)	425	251	174	11.9	14.1	9.6	154.9	97.8
4 脳血管疾患 (9300)	264	126	138	7.4	7.1	7.6	96.2	94.1
5 その他の循環器系の疾患 (9500)	166	89	77	4.6	5.0	4.2	60.5	5.8
6 老衰 (18100)	153	28	125	4.3	1.6	6.9	55.8	55.5
7 その他の呼吸器系の疾患 (10600)	117	65	52	3.3	3.7	2.9	42.6	48.1
8 腎不全 (14200)	107	45	62	3.0	2.5	3.4	39.0	20.0
9 不慮の事故 (20100)	75	37	38	2.1	2.1	2.1	27.3	31.5
10 その他の消化器系の疾患 (11400)	65	28	37	1.8	1.6	2.0	23.7	17.6
11 大動脈瘤及び解離 (9400)	57	34	23	1.6	1.9	1.3	20.8	12.8
12 自殺 (20200)	56	39	17	1.6	2.2	0.9	20.4	20.7
13 敗血症 (1300)	45	25	20	1.3	1.4	1.1	16.4	8.9
14 肝疾患 (11300)	44	25	19	1.2	1.4	1.0	16.0	12.7
15 糖尿病 (4100)	38	24	14	1.1	1.4	0.8	13.9	11.0
16 血管性及び詳細不明の認知症 (5100)	26	10	16	0.7	0.6	0.9	9.5	7.9
16 その他の新生物 (2200)	26	14	12	0.7	0.8	0.7	9.5	8.7
18 ヘルニア及び腸閉塞 (11200)	25	7	18	0.7	0.4	1.0	9.1	5.4
19 アルツハイマー病 (6400)	23	7	16	0.6	0.4	0.9	8.4	6.5
19 慢性閉塞性肺疾患 (10400)	23	18	5	0.6	1.0	0.3	8.4	13.1
そ の 他	206	86	120	5.7	4.8	6.6	75.1	79.7

(注) 分類は死因順位分類による

## (5) 主要死因, 年次別

年次	死亡数	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
		死 因	数	死 因	数	死 因	数	死 因	数	死 因	数
25	2,322	全 結 核	588	中枢神経系	267	悪性新生物	199	心 疾 患	165	胃・大腸等	158
30	1,980	中枢神経系	388	全 結 核	224	〃	213	〃	178	老 衰	153
35	1,822	〃	399	悪性新生物	267	心 疾 患	245	全 結 核	147	〃	104
S. 40	1,813	〃	473	〃	298	〃	255	事 故 等	100	全 結 核	95
45	1,830	脳血管疾患	405	〃	325	〃	287	肺 炎	113	老 衰	75
50	1,985	〃	453	〃	417	〃	343	〃	109	〃	71
55	2,062	悪性新生物	523	脳血管疾患	444	〃	396	〃	96	〃	65
60	2,249	〃	605	心 疾 患	472	脳血管疾患	388	〃	135	自 殺	68
H. 2	2,248	〃	616	〃	520	〃	305	〃	200	腎 炎 等	72
7	2,569	〃	781	〃	431	〃	354	肺 炎	263	不慮の事故	80
8	2,535	〃	799	〃	424	〃	351	〃	269	〃	97
9	2,544	〃	793	〃	417	〃	343	〃	236	〃	85
10	2,537	〃	804	〃	459	〃	284	〃	235	〃	119
11	2,728	〃	827	〃	490	〃	341	〃	304	〃	81
12	2,763	〃	891	〃	451	〃	322	〃	306	〃	80
13	2,581	〃	849	〃	466	〃	286	〃	246	〃	74
14	2,559	〃	860	〃	406	〃	289	〃	267	自 殺	76
15	2,748	〃	875	〃	394	〃	344	〃	294	〃	104
16	2,790	〃	870	〃	426	〃	361	〃	299	不慮の事故	87
17	3,096	〃	964	〃	473	肺 炎	369	脳血管疾患	342	他呼吸器	103
18	3,201	〃	1,012	〃	511	脳血管疾患	387	肺 炎	343	〃	89
19	3,106	〃	989	〃	510	肺 炎	314	脳血管疾患	299	〃	99
20	3,233	〃	1,026	〃	513	脳血管疾患	326	肺 炎	326	腎 不 全	96
21	3,322	〃	1,051	〃	518	肺 炎	343	脳血管疾患	330	不慮の事故	96
22	3,424	〃	1,068	〃	521	〃	369	〃	302	他呼吸器	125
23	3,526	〃	1,089	〃	588	〃	402	〃	300	他循環器	113
24	3,528	〃	1,009	〃	616	〃	370	〃	288	老 衰	142
25	3,586	〃	1,063	〃	582	〃	425	〃	264	他循環器	166

(注) 死因名は次のように略称した。

- (平成6年分まで) 中枢神経系：中枢神経系の血管損傷  
 肺 炎 等：肺炎及び気管支炎  
 事 故 等：不慮の事故及び有害作用  
 腎 炎 等：腎炎, ネフローゼ症候群およびネフローゼ
- (平成7年分より) 心 疾 患：心疾患(高血圧性を除く)  
 他 呼 吸 器：その他の呼吸器系の疾患  
 他 循 環 器：その他の循環器系の疾患

## (6) 死亡数, 死亡場所別・性別・年次別

年次	総数	死 亡 場 所						
		病 院	診 療 所	介 護 老 人 保 健 施 設	助 産 所	老 人 ホ ー ム	自 宅	そ の 他
H. 22	3,424	2,814	92	71	-	84	302	61
23	3,526	2,865	110	63	-	111	321	56
24	3,528	2,818	111	84	-	130	324	61
25	3,586	2,896	121	73	-	134	313	49
(男)	1,774	1,459	60	19	-	29	173	34
(女)	1,812	1,437	61	54	-	105	140	15

## (7) 悪性新生物による死亡、内訳・数・順位・年次別

年次	計	胃	肺	膵臓	肝臓	食道	直腸	結腸	乳房	白血病	子宮	その他
S. 25	199	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
30	213	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
35	267	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
40	298	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
45	325	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
50	417	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
55	523	① 141	② 64	⑤ 24	③ 45	④ 30	⑨ 11	...	⑥ 23	⑦ 16	⑧ 15	154
60	605	① 141	② 99	④ 44	③ 46	⑤ 25	⑥ 23	...	⑧ 19	⑨ 18	⑦ 21	169
H. 2	616	② 120	① 124	④ 36	③ 48	⑤ 30	⑤ 30	...	⑦ 22	⑧ 14	⑨ 11	181
7	781	① 139	② 132	⑤ 59	③ 74	⑥ 32	⑦ 28	④ 68	⑨ 18	⑩ 14	⑧ 19	198
8	799	② 146	① 148	⑤ 58	④ 66	⑥ 43	⑩ 21	③ 68	⑧ 26	⑨ 23	⑬ 12	188
9	793	① 146	② 136	⑥ 43	④ 74	⑧ 35	⑨ 33	③ 81	⑩ 28	⑭ 16	⑯ 11	190
10	804	② 114	① 151	⑥ 50	④ 70	⑧ 33	⑧ 33	③ 71	⑩ 30	⑫ 19	⑭ 15	218
11	827	② 119	① 153	⑥ 57	⑤ 59	⑧ 41	⑦ 50	④ 67	⑩ 2	⑪ 26	⑪ 26	200
12	891	① 144	② 139	⑥ 54	④ 83	⑨ 40	⑧ 43	③ 85	⑩ 36	⑬ 20	⑭ 18	229
13	849	② 132	① 144	⑤ 55	④ 75	⑧ 38	⑥ 43	③ 80	⑨ 36	⑭ 17	⑯ 15	214
14	860	② 136	① 164	⑥ 54	④ 65	⑨ 33	⑧ 39	③ 96	⑩ 31	⑯ 11	⑰ 9	222
15	875	② 147	① 169	⑤ 46	④ 65	⑧ 37	⑦ 38	③ 98	⑨ 31	⑪ 20	⑬ 19	205
16	870	② 130	① 149	④ 67	④ 67	⑥ 44	⑧ 36	③ 87	⑨ 32	⑭ 12	⑮ 8	238
17	964	② 121	① 194	④ 87	⑤ 75	⑨ 40	⑦ 50	③ 102	⑪ 29	⑬ 20	⑯ 14	232
18	1,012	② 135	① 187	⑤ 84	④ 94	⑨ 31	⑥ 58	③ 100	⑦ 46	⑯ 11	⑰ 20	246
19	989	② 131	① 209	④ 92	⑤ 78	⑧ 39	⑨ 38	③ 97	⑩ 33	⑰ 8	⑭ 21	243
20	1,025	② 120	① 206	④ 86	⑥ 71	⑩ 36	⑧ 44	③ 95	⑬ 28	⑫ 29	⑯ 19	292
21	1,051	② 126	① 218	④ 96	⑥ 70	⑧ 42	⑨ 36	③ 112	⑨ 36	⑮ 22	⑮ 22	271
22	1,068	② 130	① 223	④ 104	⑥ 79	⑧ 44	⑦ 63	③ 108	⑩ 39	⑭ 18	⑰ 13	247
23	1,089	② 156	① 217	④ 102	⑤ 84	⑧ 45	⑦ 50	③ 113	⑨ 37	⑪ 21	⑫ 19	245
24	1,009	② 149	① 214	⑤ 78	④ 79	⑭ 18	⑦ 45	③ 103	⑨ 33	⑬ 20	⑯ 16	254
25	1,063	② 139	① 201	④ 91	⑤ 74	⑨ 37	⑦ 47	③ 129	⑧ 38	⑭ 16	⑭ 16	275

(注) ○の中の数字は各年次の順位を表す。

部位は下記のとおり略称した。

(平成6年分まで) 肺 : 気管, 気管支及び肺

直腸 : 直腸, 直腸S状結腸移行部及び肛門

(平成7年分より) 肺 : 気管, 気管支及び肺

肝臓 : 肝及び肝内胆管

直腸 : 直腸S状結腸移行部及び直腸

## (8) 死亡数, 死因 (死因分類別) ・ 性 ・ 年齢階級別

死因分類コード	死因	総数			0～4歳		5～9		10～14		15～19		20～24		25～29	
		計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	総数	3,586	1,774	1,812	-	2	-	-	1	-	1	1	4	2	5	3
<b>01000</b>	<b>感染症及び寄生虫症</b>	<b>71</b>	<b>35</b>	<b>36</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01100	・腸管感染症	7	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01200	・結核	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01201	呼吸器結核	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01202	その他の結核	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01300	・敗血症	45	25	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01400	・ウイルス肝炎	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01401	B型ウイルス肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01402	C型ウイルス肝炎	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01403	その他のウイルス肝炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01500	・ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
01600	・その他の感染症及び寄生虫症	9	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>02000</b>	<b>新生物</b>	<b>1,089</b>	<b>581</b>	<b>508</b>	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
02100	・悪性新生物	1,063	567	496	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
02101	口唇, 口腔及び咽頭	17	9	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02102	食道	37	31	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02103	胃	139	88	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02104	結腸	129	49	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02105	直腸S状結腸移行部, 直腸	47	29	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02106	肝, 肝内胆管	74	45	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02107	胆のう, その他の胆道	60	22	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02108	膵臓	91	43	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02109	喉頭	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02110	気管, 気管支及び肺	201	134	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02111	皮膚	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02112	乳房	38	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02113	子宮	16	・	16	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-
02114	卵巣	12	・	12	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-
02115	前立腺	30	30	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-	・
02116	膀胱	24	15	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02117	中枢神経系	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02118	悪性リンパ腫	33	13	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02119	白血病	16	9	7	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び関連組織	9	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02121	その他 (悪性新生物)	80	38	42	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
02200	・その他の新生物	26	14	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02201	中枢神経系	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02202	中枢神経系を除く	21	13	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>03000</b>	<b>血液及び造血器の疾患, 免疫機構の障害</b>	<b>15</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03100	・貧血	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03200	・その他の血液及び造血器の疾患, 免疫機構の障害	8	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>04000</b>	<b>内分泌, 栄養及び代謝疾患</b>	<b>51</b>	<b>28</b>	<b>23</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>1</b>	-
04100	・糖尿病	38	24	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04200	・その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	13	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-



30～34		35～39		40～44		45～49		50～54		55～59		60～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85以上		死 因 分 類 コード
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
2	6	15	8	10	6	22	10	38	20	67	43	119	80	143	90	247	111	280	197	342	265	478	968	
-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	3	1	3	4	1	7	9	9	7	7	12	<b>01000</b>
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	1	2	01100
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	1	01200
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	01201
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	01202
-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	1	2	1	1	6	4	7	4	5	8	01300
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	01400
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	01401
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	01402
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	01403
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	01500
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	1	1	1	01600
1	-	-	5	2	4	3	7	15	9	25	26	50	41	76	50	106	50	116	69	103	82	82	164	<b>02000</b>
1	-	-	5	2	4	3	7	15	9	25	26	50	41	76	49	102	48	112	66	102	80	77	160	02100
-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	1	3	4	02101
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	3	2	3	-	8	-	6	2	6	-	2	2	02102
1	-	-	-	-	-	1	2	6	3	11	8	9	4	13	3	15	10	16	1	15	21	15	21	02103
-	-	-	-	-	1	-	-	3	1	2	4	2	5	6	4	10	9	8	12	9	16	9	28	02104
-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	2	1	3	7	2	-	5	-	9	2	4	1	2	6	02105
-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	8	2	5	4	8	3	6	4	11	3	3	12	3	12	02106
-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	4	-	1	4	3	6	4	4	4	5	21	5	21	02107
-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	6	9	8	9	3	11	11	5	10	4	9	4	9	02108
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	02109
-	-	-	-	1	-	-	1	3	1	4	1	13	4	26	8	25	8	24	9	24	17	14	18	02110
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	02111
-	-	-	2	-	-	-	2	-	4	-	6	-	1	-	6	-	7	-	1	-	6	-	3	02112
•	-	•	1	•	3	•	1	•	1	•	2	•	-	•	-	•	4	•	1	•	1	•	2	02113
•	-	•	2	•	-	•	-	•	1	•	3	•	-	•	2	•	2	•	1	•	1	•	-	02114
-	•	-	•	-	•	-	•	-	•	1	•	1	•	1	•	4	•	5	•	9	•	9	•	02115
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	2	3	-	2	-	2	2	3	5	02116
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	02117
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	2	2	6	1	2	7	-	8	02118
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	-	1	-	-	2	02119
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3	-	-	1	-	1	02120
-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	4	-	6	4	8	3	5	6	7	9	8	16	8	16	02121
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	2	4	3	1	2	5	4	02200
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	2	02201
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	3	3	1	2	5	2	02202
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	2	9	<b>03000</b>
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	03100
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	4	03200
-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	1	-	4	1	2	1	2	1	4	3	3	3	8	12	<b>04000</b>
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	1	2	1	2	1	4	3	1	3	8	5	04100
-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	7	04200

分類 コード	死 因	総 数			0～4歳		5～ 9		10～14		15～19		20～24		25～29	
		計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
<b>05000</b>	<b>精神及び行動の障害</b>	<b>29</b>	<b>11</b>	<b>18</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
05100	・血管性及び詳細不明の認知症	26	10	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
05200	・その他の精神及び行動の障害	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>06000</b>	<b>神経系の疾患</b>	<b>68</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06100	・髄膜炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06200	・脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	7	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06300	・パーキンソン病	14	8	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06400	・アルツハイマー病	23	7	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06500	・その他の神経系の疾患	22	13	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>07000</b>	<b>眼及び付属器の疾患</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>08000</b>	<b>耳及び乳様突起の疾患</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>09000</b>	<b>循環器系の疾患</b>	<b>1,085</b>	<b>504</b>	<b>581</b>	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
09100	・高血圧性疾患	16	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09101	高血圧性心疾患, 心腎疾患	7	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09102	その他の高血圧性疾患	9	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09200	・心疾患（高血圧性を除く）	582	249	333	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
09201	慢性リウマチ性心疾患	16	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09202	急性心筋梗塞	65	37	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09203	その他の虚血性心疾患	73	31	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	53	20	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09205	心筋症	12	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09206	不整脈及び伝導障害	57	24	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09207	心不全	296	121	175	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
09208	その他の心疾患	10	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09300	・脳血管疾患	264	126	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09301	くも膜下出血	27	7	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09302	脳内出血	82	44	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09303	脳梗塞	153	74	79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09304	その他の脳血管疾患	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
09400	・大動脈瘤及び解離	57	34	23	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
09500	・その他の循環器系の疾患	166	89	77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>10000</b>	<b>呼吸器系の疾患</b>	<b>570</b>	<b>334</b>	<b>236</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
10100	・インフルエンザ	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10200	・肺 炎	425	251	174	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
10300	・急性気管支炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10400	・慢性閉塞性肺疾患	23	18	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10500	・喘 息	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10600	・その他の呼吸器系の疾患	117	65	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>11000</b>	<b>消化器系の疾患</b>	<b>137</b>	<b>61</b>	<b>76</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11100	・胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11200	・ヘルニア及び腸閉塞	25	7	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11300	・肝疾患	44	25	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11301	肝硬変(アルコール性を除く)	17	7	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11302	その他の肝疾患	27	18	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11400	・その他の消化器系の疾患	65	28	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85以上	分類												
男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	男：女	コード												
1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	5	2	4	11	<b>05000</b>									
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	2	4	11	05100									
1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	05200									
-	1	-	-	1	2	-	2	2	1	1	3	1	5	2	4	2	6	6	10	19	<b>06000</b>			
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	06100			
-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	06200			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	2	1	4	4	4	4	06300			
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3	3	3	12	3	12	06400				
-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	1	2	1	1	3	-	1	2	3	3	06500				
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>07000</b>			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>08000</b>			
-	1	1	-	3	-	10	2	12	2	19	8	36	18	35	16	75	30	63	65	90	96	158	343	<b>09000</b>
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	2	2	3	5	09100				
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1	09101				
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	4	09102				
-	1	-	1	-	5	1	7	1	8	-	19	6	13	7	31	11	21	33	52	46	90	228	09200	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	1	-	4	1	6	09201			
-	-	-	-	1	-	2	1	-	-	5	-	1	-	3	-	6	3	9	7	10	17	09202		
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	4	1	2	2	7	5	16	34	09203		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	4	7	4	11	23	09204			
-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	2	2	09205		
-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	1	-	-	3	2	1	7	8	2	8	21	09206		
-	1	-	1	-	2	1	4	-	5	-	10	3	9	5	18	7	10	14	18	23	42	122	09207	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	2	1	-	3	09208			
-	-	-	1	-	3	-	1	1	5	4	9	5	8	6	23	9	23	11	18	35	35	67	09300	
-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	2	-	1	1	4	1	3	2	4	1	4	09301		
-	-	-	1	-	2	-	-	1	5	2	5	3	5	4	8	2	5	2	7	12	6	12	09302	
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	2	-	14	3	17	6	9	19	28	51	09303		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	09304		
-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-	2	2	4	-	8	3	7	6	2	3	5	9	09400	
-	1	-	-	-	2	1	3	-	3	3	5	5	10	3	13	7	12	13	16	10	25	34	09500	
-	-	2	-	-	-	-	2	2	5	-	7	3	11	7	24	12	53	20	93	34	137	157	<b>10000</b>	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10100		
-	2	-	-	-	-	1	2	4	-	5	2	5	5	14	9	41	15	68	21	111	119	10200		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10300		
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	2	1	4	-	8	1	2	3	10400	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	10500		
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	5	2	8	2	8	5	17	11	24	31	10600		
-	-	-	-	1	-	1	1	5	2	6	3	3	2	13	6	12	7	6	10	14	45	<b>11000</b>		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	11100		
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	1	3	2	1	1	1	12	11200		
-	-	-	-	-	1	-	1	1	4	-	5	2	3	2	5	4	3	2	1	3	2	5	11300	
-	-	-	-	-	1	1	2	-	2	1	2	2	-	3	-	1	-	1	-	1	-	1	11301	
-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	3	1	1	-	5	1	3	1	1	2	2	4	11302		
-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	5	1	6	2	4	6	11	27	11400		

分類 コード	死 因	総 数			0～4歳		5～ 9		10～14		15～19		20～24		25～29	
		計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
<b>12000</b>	<b>皮膚及び皮下組織の疾患</b>	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>13000</b>	<b>筋骨格系及び結合組織の疾患</b>	9	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>14000</b>	<b>腎尿路生殖器系の疾患</b>	135	54	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14100	・糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	12	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14200	・腎不全	107	45	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14201	急性腎不全	19	7	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14202	慢性腎不全	65	28	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14203	詳細不明の腎不全	23	10	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14300	・その他の腎尿路生殖器系の疾患	16	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>15000</b>	<b>妊娠、分娩及び産じょく</b>	1	・	1	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-	・	-
<b>16000</b>	<b>周産期に発生した病態</b>	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16100	・妊娠期間及び胎児発育に関する障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16200	・出産外傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16300	・周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16400	・周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16500	・胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16600	・その他の周産期に発生した病態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>17000</b>	<b>先天奇形、変形及び染色体異常</b>	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17100	・神経系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17200	・循環器系の先天奇形	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17201	心臓の先天奇形	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17202	その他の循環器系の先天奇形	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17300	・消化器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17400	・その他の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17500	・染色体異常,他に分類されないもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>18000</b>	<b>症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの</b>	181	42	139	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18100	・老 衰	153	28	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18200	・乳幼児突然死症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18300	・その他	28	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>20000</b>	<b>傷病及び死亡の外因</b>	139	80	59	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	2	
20100	・不慮の事故	75	37	38	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
20101	交通事故	9	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20102	転倒・転落	11	5	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20103	不慮の溺死及び溺水	11	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20104	不慮の窒息	27	13	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20105	煙、火及び火災への曝露	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
20107	その他の不慮の事故	12	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20200	・自 殺	56	39	17	-	-	-	-	-	-	-	2	1	4	2	
20300	・他 殺	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20400	・その他の外因	6	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>22000</b>	<b>特殊目的用コード</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22100	・重症急性呼吸器症候群〔SARS〕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85以上	分類											
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	コード									
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	<b>12000</b>										
-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	<b>13000</b>										
-	1	-	-	-	1	3	2	1	6	3	7	6	11	14	23	56	<b>14000</b>						
-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	1	1	1	1	5	14100						
-	1	-	-	-	1	1	2	1	3	3	7	3	9	12	20	42	14200						
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1	1	4	2	7	14201						
-	1	-	-	-	1	-	-	2	1	3	2	4	2	6	5	12	26	14202					
-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	2	3	6	9	14203						
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	1	2	9		14300						
•	•	1	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	<b>15000</b>						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>16000</b>						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16100						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16200						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16300						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16400						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16500						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16600						
-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	<b>17000</b>						
-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17100						
-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17200						
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17201						
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17202						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17300						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17400						
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17500						
-	1	-	-	-	-	1	1	2	2	3	-	4	2	7	6	3	9	21	119	<b>18000</b>			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	4	2	3	7	19	115		18100					
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18200			
-	1	-	-	-	-	1	1	2	2	3	-	2	1	3	4	-	2	2	4	18300			
-	3	6	1	5	1	6	-	6	5	4	2	5	6	7	6	7	6	11	1	11	21	<b>20000</b>	
-	-	1	2	1	-	1	2	2	1	2	2	4	5	3	3	3	5	9	-	10	18	20100	
-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	20101	
-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	2	4	-	-	-	20102	
-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	-	2	4	-	-	-	-	-	-	20103	
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	2	1	1	4	-	4	8	-	-	-	20104	
-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	20105	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20106	
-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	3	5	-	-	-	20107	
-	3	6	-	3	1	4	-	5	2	2	1	2	4	3	1	4	-	2	1	1	1	1	20200
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	20300
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	20400
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<b>22000</b>
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22100

#### 4 乳児死亡・新生児死亡

##### (1) 乳児死亡数および新生児死亡数と率、年次別

年次	死亡数		死亡率（出生千対）					
			乳児死亡			新生児死亡		
	乳児	新生児	函館市	北海道	全国	函館市	北海道	全国
S. 25	289	96	45.3	55.6	60.1	15.1	…	27.4
30	139	65	34.4	38.5	39.8	16.1	18.0	22.3
35	106	55	27.7	30.2	30.7	14.4	13.6	17.0
40	82	52	20.3	19.5	18.5	12.9	11.3	11.7
45	65	42	16.3	13.1	13.1	10.5	8.2	8.7
50	61	46	11.7	11.2	10.0	8.8	7.6	6.8
55	29	19	7.0	8.4	7.5	4.6	5.6	4.9
60	24	14	6.7	6.2	5.5	3.9	3.8	3.4
H. 2	14	9	5.0	4.4	4.6	3.2	2.6	2.6
7	10	5	4.1	4.0	4.3	2.0	2.0	2.2
8	8	6	3.4	3.7	3.8	2.6	1.9	2.0
9	3	2	1.3	3.2	3.7	0.9	1.8	1.9
10	5	3	2.2	3.1	3.6	1.3	1.8	2.0
11	9	6	4.0	2.9	3.4	2.6	1.6	1.8
12	5	2	2.3	2.4	3.2	0.9	1.4	1.8
13	9	4	4.3	3.3	3.1	1.9	1.8	1.6
14	3	2	1.5	2.5	3.0	1.0	1.3	1.7
15	8	2	3.9	3.0	3.0	1.0	1.7	1.7
16	3	2	1.5	3.2	2.8	1.0	1.8	1.5
17	6	5	3.1	2.8	2.8	2.6	1.6	1.4
18	4	1	2.1	2.7	2.6	0.5	1.3	1.3
19	5	2	2.6	2.7	2.6	1.0	1.4	1.3
20	7	3	3.7	2.4	2.6	1.6	1.2	1.2
21	2	1	1.1	2.2	2.4	0.5	1.0	1.2
22	9	4	4.9	2.1	2.3	2.2	1.0	1.1
23	1	1	0.6	2.1	2.3	0.6	1.0	1.1
24	2	-	1.2	2.3	2.2	-	1.1	1.0
25	2	2	1.2	2.2	2.1	1.2	1.1	1.0

##### (2) 乳児死亡数，生存期間・死因別(平成25年)

乳児死因 分類番号	区分	総数	1週未満	1週以上 4週未満	4週以上 3月未満	3月以上 6月未満	6月以上 12月未満
			総数	2	2	-	-
Ba27	新生児の呼吸窮迫	1	1	-	-	-	-
Ba30	その他の周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	1	1	-	-	-	-

## 5 死産

### (1) 死産数・率，年次別

年次	死産数			死産率 (出産千対)								
				総数			自然			人工		
	総数	自然	人工	函館市	北海道	全国	函館市	北海道	全国	函館市	北海道	全国
S. 25	553	219	334	79.8	72.2	84.9	31.6	33.1	41.7	48.2	39.2	43.2
30	560	158	402	121.8	94.6	95.8	34.4	35.7	44.5	87.5	58.9	51.3
35	537	193	344	123.1	112.2	100.4	44.3	45.2	52.3	78.9	67.1	48.1
40	496	197	299	109.4	103.6	81.4	43.5	43.6	47.6	66.0	60.0	33.8
45	367	158	209	84.2	97.4	65.3	36.2	43.1	40.6	47.9	54.4	24.7
50	421	198	223	74.8	75.0	50.8	35.2	38.2	33.8	39.6	36.8	17.1
55	384	173	211	84.9	71.2	46.8	38.3	34.4	28.8	46.7	36.8	18.0
60	287	89	198	73.4	69.9	46.0	22.6	24.7	22.1	50.8	45.1	23.9
H. 2	230	81	149	76.5	60.4	42.3	26.9	20.9	18.3	49.6	39.5	23.9
7	84	32	52	33.2	41.0	32.1	12.6	16.3	14.9	20.5	24.7	17.2
8	88	26	62	36.1	40.1	31.7	10.7	16.2	14.7	25.5	23.9	17.0
9	85	30	55	36.5	41.4	32.1	12.9	15.1	14.2	23.6	26.3	17.9
10	121	51	70	50.5	42.1	31.4	21.3	15.9	13.6	29.2	26.2	17.8
11	122	54	68	51.0	42.1	31.6	23.2	16.0	13.7	29.1	26.1	17.9
12	101	40	61	44.8	42.4	31.2	17.7	15.4	13.2	27.1	27.0	18.1
13	123	46	77	55.8	42.4	31.0	20.9	15.3	13.0	35.0	27.1	18.0
14	129	54	75	59.9	39.8	31.1	25.1	14.4	12.7	34.8	25.5	18.3
15	120	40	80	55.0	39.1	30.5	18.3	13.8	12.6	36.6	25.3	17.8
16	110	41	69	53.5	38.9	30.0	19.9	14.5	12.5	33.6	24.3	17.5
17	103	32	71	50.2	38.6	29.1	15.6	14.0	12.3	34.6	24.6	16.7
18	94	38	56	46.1	35.5	27.5	18.6	14.0	11.9	27.4	21.5	15.6
19	90	33	57	44.2	34.4	26.2	16.2	13.8	11.7	28.0	20.6	14.5
20	97	33	64	48.8	33.2	25.2	16.6	13.4	11.3	32.2	19.8	13.9
21	87	28	59	44.0	32.8	24.6	14.2	13.7	11.1	29.9	19.1	13.5
22	84	26	58	44.0	30.4	24.2	13.6	12.3	11.2	30.4	18.0	13.0
23	90	33	57	48.3	32.2	23.9	17.7	12.6	11.1	30.6	19.6	12.8
24	58	18	40	33.0	29.5	23.4	10.3	11.9	10.8	22.8	17.7	12.6
25	55	14	41	30.8	28.8	22.9	7.8	10.1	10.4	23.0	18.7	12.5

### (2) 死産数，母の年齢階級別(平成25年)

区分		総数	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳～
全体	死産数	55	11	9	10	16	8	1	-
	比(%)	100.0	20.0	16.4	18.2	29.1	14.5	1.8	-
自然	死産数	14	-	-	2	8	4	-	-
	比(%)	100.0	-	-	14.3	57.1	28.6	-	-
人工	死産数	41	11	9	8	8	4	1	-
	比(%)	100.0	26.8	22.0	19.5	19.5	9.8	2.4	-

### (3) 死産数，妊娠期間別(平成25年)

区分		総数	12～ 15週	16～ 19週	20～ 23週	24～ 27週	28～ 31週	32～ 35週	36週～	不詳
全体	死産数	55	18	19	15	1	-	-	2	-
	比(%)	100.0	32.7	34.6	27.3	1.8	-	-	3.6	-
自然	死産数	14	6	1	4	1	-	-	2	-
	比(%)	100.0	42.9	7.1	28.6	7.1	-	-	14.3	-
人工	死産数	41	12	18	11	-	-	-	-	-
	比(%)	100.0	29.3	43.9	26.8	-	-	-	-	-

## 6 周産期死亡

### (1) 周産期死亡数・率，年次別

年次	総数	後期死産	早期新生児 死亡数	出生数	周産期死亡率（出生千対）		
					函館市	北海道	全国
S. 25	206	165	41	6,377	32.3	37.8	46.6
30	133	100	33	4,036	32.9	35.9	43.9
35	138	107	31	3,821	36.1	36.9	41.4
40	105	67	38	4,035	26.0	28.2	30.1
45	76	45	31	3,992	19.0	20.4	21.7
50	83	45	38	5,210	15.9	15.6	16.0
55	49	33	16	4,137	11.4	11.9	11.7
60	24	12	12	3,573	6.7	8.5	8.0
H. 2	20	11	9	2,777	7.2	5.7	5.7
7	19	14	5	2,444	7.7	7.0	7.1
8	9	4	5	2,348	3.8	6.6	6.7
9	15	13	2	2,241	6.7	6.2	6.4
10	16	14	2	2,273	7.0	6.2	6.2
11	23	18	5	2,271	10.1	6.4	6.0
12	12	10	2	2,153	6.0	5.5	5.8
13	14	11	3	2,080	6.7	5.5	5.5
14	14	13	1	2,024	6.9	5.3	5.5
15	15	13	2	2,063	7.2	5.6	5.3
16	5	5	-	1,946	2.6	5.2	5.0
17	10	6	4	1,947	5.1	5.1	4.8
18	14	13	1	1,947	7.1	5.1	4.7
19	6	5	1	1,944	3.1	4.6	4.5
20	9	7	2	1,891	4.7	4.8	4.3
21	5	4	1	1,889	2.6	4.4	4.2
22	9	5	4	1,827	4.9	4.2	4.2
23	5	5	-	1,774	2.8	4.3	4.1
24	7	7	-	1,697	4.1	4.1	4.0
25	8	6	2	1,731	4.6	3.6	3.7

(注) 後期死産：平成6年以前は満28週以後の死産数，平成7年以降は満22週以後の死産数を表す。



## 7 婚姻・離婚

### (1) 婚姻・離婚件数と率, 年次別

年次	件数		率 (人口千対)					
			婚姻			離婚		
	婚姻	離婚	函館市	北海道	全国	函館市	北海道	全国
S. 25	1,890	362	8.3	9.3	8.6	1.58	0.96	1.01
30	2,035	377	8.4	8.3	8.0	1.55	0.97	0.84
35	2,436	326	10.0	10.1	9.3	1.34	0.93	0.74
40	2,556	367	10.5	9.8	9.7	1.51	1.13	0.79
45	2,404	436	9.9	10.0	10.0	1.80	1.43	0.93
50	2,729	554	8.9	9.1	8.5	1.80	1.65	1.07
55	2,338	727	7.3	7.2	6.7	2.27	1.86	1.22
60	1,968	819	6.2	6.4	6.1	2.57	2.12	1.39
H. 2	1,836	624	6.0	6.0	5.9	2.03	1.73	1.28
7	1,866	653	6.3	6.3	6.4	2.19	1.98	1.60
8	1,863	746	6.3	6.3	6.4	2.52	2.06	1.66
9	1,756	767	6.0	6.0	6.2	2.62	2.23	1.78
10	1,725	767	5.9	6.0	6.3	2.64	2.38	1.94
11	1,655	778	5.7	5.8	6.1	2.69	2.41	2.00
12	1,700	844	5.9	6.1	6.4	2.92	2.51	2.10
13	1,674	848	5.9	6.1	6.4	2.97	2.76	2.27
14	1,581	954	5.6	5.8	6.0	3.36	2.77	2.30
15	1,565	872	5.5	5.7	5.9	3.09	2.72	2.25
16	1,482	858	5.3	5.5	5.7	3.06	2.59	2.15
17	1,535	790	5.2	5.3	5.7	2.69	2.42	2.08
18	1,500	729	5.2	5.4	5.8	2.51	2.36	2.04
19	1,427	717	5.0	5.2	5.7	2.50	2.33	2.02
20	1,402	656	5.0	5.3	5.8	2.32	2.30	1.99
21	1,427	642	5.1	5.2	5.6	2.29	2.24	2.01
22	1,320	636	4.7	5.2	5.5	2.29	2.29	1.99
23	1,303	643	4.7	4.9	5.2	2.30	2.17	1.87
24	1,282	538	4.6	4.9	5.3	1.94	2.13	1.87
25	1,248	592	4.5	4.9	5.3	2.16	2.09	1.84

## 第2章 母体保護統計

### 1 不妊手術

(1) 不妊手術数，年齢階級・年次別

年次	男		女		女						
	総数	総数	～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳～	
S. 35	-	101	2	3	24	44	23	4	1	-	
40	-	54	-	2	13	26	10	3	-	-	
45	-	44	-	1	18	15	8	2	-	-	
50	-	29	-	6	9	13	-	1	-	-	
55	-	34	-	1	8	17	7	1	-	-	
60	-	51	-	4	20	17	10	-	-	-	
H. 2	-	73	-	1	18	28	19	7	-	-	
7	-	71	-	1	22	26	16	6	-	-	
8	-	29	-	1	8	17	3	-	-	-	
9	-	47	-	3	15	19	9	1	-	-	
10	-	38	-	1	5	16	11	5	-	-	
11	-	42	-	1	11	12	15	2	1	-	
12	-	39	-	3	10	15	10	1	-	-	
13	-	31	-	2	5	15	7	2	-	-	
14	-	21	-	1	6	6	6	2	-	-	
15	-	29	-	1	9	12	7	-	-	-	
16	-	32	-	2	8	10	7	5	-	-	
17	-	27	-	-	5	12	9	1	-	-	
18	-	11	-	-	2	5	3	1	-	-	
19	-	20	-	-	3	11	3	3	-	-	
20	-	14	-	2	2	5	3	1	1	-	
21	-	16	-	1	2	3	10	-	-	-	
22	-	10	-	-	1	1	6	2	-	-	
23	-	18	-	1	3	6	6	2	-	-	
24	-	11	-	1	3	3	3	1	-	-	
25	-	11	-	0	0	4	5	2	-	-	

(2) 不妊手術数，年齢階級・事由別(平成25年度)

区分	総数		～19歳		20～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	-	11	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	2	-	-	-	-
母体の生命危険	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-
母体の健康低下	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-

## 2 人工妊娠中絶

### (1) 人工妊娠中絶数，年齢階級・年次別

年次	総数	～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳～	不詳
S. 35	3,653	76	659	1,107	886	658	247	20	-	-
40	2,782	72	689	694	679	447	181	20	-	-
45	2,383	80	664	646	479	358	148	8	-	-
50	2,877	109	722	759	656	429	190	11	1	-
55	2,893	201	647	649	728	478	172	18	-	-
60	3,752	369	657	706	914	815	272	16	3	-
H. 2	3,230	324	828	579	581	593	309	16	-	-
7	2,221	243	655	478	366	314	154	11	-	-
8	2,227	265	702	418	384	294	152	12	-	-
9	2,242	260	650	475	416	296	131	14	-	-
10	2,143	306	601	435	355	294	141	9	1	1
11	2,035	289	611	451	320	263	92	9	-	-
12	2,019	323	595	405	328	240	116	12	-	-
13	2,092	366	557	456	334	255	114	10	-	-
14	1,927	311	527	443	343	211	82	9	1	-
15	1,837	279	501	385	334	236	93	5	-	4
16	1,698	266	414	370	350	203	86	8	-	1
17	1,555	202	359	328	359	220	75	10	2	-
18	1,281	141	346	275	271	181	65	2	-	-
19	1,188	104	302	272	266	181	58	5	-	-
20	1,167	108	276	246	279	184	66	8	-	-
21	1,006	106	241	218	204	159	73	5	-	-
22	909	107	213	197	186	147	54	5	-	-
23	924	114	227	181	169	169	58	5	1	-
24	817	102	173	180	171	126	58	7	-	-
25	767	94	171	161	146	142	51	2	-	-

### (2) 人工妊娠中絶数，年齢階級・妊娠週数別(平成25年度)

区分	総数	～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳～	不詳
中絶数	総数	767	94	171	161	142	51	2	-	-
	4～7週	318	27	69	68	62	65	26	1	-
	8～11週	399	56	89	85	74	70	24	1	-
	12～15週	23	4	6	3	4	5	1	-	-
	16～19週	16	4	2	4	4	2	-	-	-
	20～22週	11	3	5	1	2	-	-	-	-
	週数不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比率 (%)	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
	4～7週	41.5	28.7	40.4	42.2	42.5	45.8	51.0	50.0	-
	8～11週	52.0	59.6	52.0	52.8	50.7	49.3	47.0	50.0	-
	12～15週	3.0	4.3	3.5	1.9	2.7	3.5	2.0	-	-
	16～19週	2.1	4.3	1.2	2.5	2.7	1.4	-	-	-
	20～22週	1.4	3.1	2.9	0.6	1.4	-	-	-	-
	週数不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 4～7週：4週～7週未満の意

## 第3章 食中毒統計

食中毒発生件数・患者数（年次別）

年次	件数	患者総数	発生日	摂食者数	患者数	原因食品	病因物質	原因施設
16年	5	68	3/26	24	12	不明	サルモネラ	飲食店
			4/21	21	8	不明	ノロウイルス	旅館
			4/24	104	43	不明	サルモネラ	旅館
			8/11	3	3	不明	サルモネラ	飲食店
			8/11	不明	2	不明	腸炎ビブリオ	不明
17年	2	6	3/9	不明	3	不明	サルモネラ	不明
			5/3	不明	3	牛レバ刺し	カンピロバクター	飲食店
18年	1	6	2/17	不明	6	不明	ノロウイルス	飲食店
19年	1	4	7/29	不明	4	不明	カンピロバクター	飲食店
20年	-	-	-	-	-	-	-	-
21年	-	-	-	-	-	-	-	-
22年	-	-	-	-	-	-	-	-
23年	2	40	1/3	69	27	不明	ノロウイルス	飲食店
			12/17	20	13	不明	ノロウイルス	飲食店
24年	3	32	4/7	3	3	トリカブトのおひたし	アコニチンほか	家庭
			4/9	16	10	不明	ノロウイルス	飲食店
			4/21	47	19	不明	ノロウイルス	飲食店
25年	-	-	-	-	-	-	-	-

# 第4章 医療関係統計

## 1 医療施設

### (1) 医療施設数, 年次別

年次	総数	病院	一般診療所			歯科診療所	助産所
			小計	有床	無床		
45	300	27	192	114	78	79	2
50	332	27	215	123	92	88	2
55	361	28	242	111	131	90	1
60	385	30	244	102	142	110	1
H. 2	414	37	242	100	142	134	1
7	434	37	257	86	171	139	1
12	435	33	253	75	178	146	3
13	434	33	254	70	184	145	2
14	434	32	258	63	195	142	2
15	425	32	249	57	192	142	2
16	438	34	253	52	201	149	2
17	437	34	253	52	201	148	2
18	421	33	238	46	192	148	2
19	421	33	243	44	199	143	2
20	417	31	242	42	200	143	1
21	410	31	239	38	201	139	1
22	405	31	234	36	198	139	1
23	399	31	230	35	195	137	1
24	393	29	227	33	194	136	1
25	386	29	223	32	191	133	1

(注) 平成14年より年度末現在数

### (2) 許可病床数, 年次別

年次	総数	病 院					一 般 診 療 所	助 産 所
		計	その他の病床	精神病床	結核病床	感染症病床		
45	6,097	4,588	2,854	783	916	35	1,509	...
50	7,451	5,755	3,698	1,191	831	35	1,696	...
55	7,737	6,000	4,278	1,219	468	35	1,737	...
60	8,308	6,675	5,133	1,219	288	35	1,624	9
H. 2	9,200	7,567	6,003	1,417	112	35	1,624	9
7	8,752	7,316	5,618	1,551	112	35	1,427	9
12	8,512	7,246	5,583	1,569	80	14	1,255	11
13	8,431	7,242	5,583	1,569	80	10	1,180	9
14	8,253	7,191	5,532	1,569	80	10	1,053	9
15	8,135	7,185	5,526	1,569	80	10	941	9
			一般病床	療養病床				
16	8,099	7,256	4,076	1,525	1,569	80	834	9
17	8,038	7,210	4,070	1,525	1,569	40	819	9
18	7,680	6,926	3,992	1,319	1,569	40	745	9
19	7,480	6,773	3,975	1,319	1,433	40	698	9
20	7,270	6,579	3,892	1,208	1,433	40	691	-
21	7,170	6,555	3,942	1,134	1,433	40	615	-
22	7,123	6,537	4,001	1,057	1,433	40	586	-
23	7,070	6,537	4,001	1,057	1,433	40	533	-
24	6,970	6,452	3,959	1,014	1,433	40	518	-
25	6,867	6,353	3,911	1,014	1,382	40	514	-

(注) 平成14年より年度末現在数

### (3) 平均在院日数, 病床利用率(平成25年6月)

区 分	平均在院日数			病 床 利 用 率(%)		
	函館市	北海道	全 国	函館市	北海道	全 国
総数	29.9	35.0	30.6	78.5	78.5	78.2
精神病床	235.5	266.5	280.2	88.2	88.4	87.9
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	78.4	75.0	71.3	20.0	21.3	35.0
療養病床	174.3	250.7	173.2	87.9	88.4	89.2
一般病床	18.3	18.9	17.2	73.3	71.0	70.9

## 2 医療従事者数

### (1) 年次別、医療従事者数

年次	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
S. 50	407	111	235	34	63	766	931	16	39
55	462	116	291	42	73	965	1,181	40	80
57	478	128	326	47	56	1,080	1,290	71	93
59	502	135	359	44	67	1,185	1,330	125	103
61	548	137	371	41	68	1,340	1,444	156	111
63	575	148	397	43	75	1,479	1,620	175	119
H. 2	610	159	421	48	70	1,563	1,695	210	122
4	644	176	448	46	63	1,844	1,763	235	124
6	691	172	497	50	60	1,880	1,886	238	130
8	729	173	551	71	75	1,992	1,860	227	130
10	728	165	536	71	63	2,147	1,847	245	111
12	756	169	552	78	61	2,286	1,801	271	138
14	750	176	555	70	60	2,544	1,769	286	128
16	784	190	596	79	66	2,787	1,853	330	129
18	797	195	644	98	64	2,913	1,835	318	128
20	796	196	645	101	73	3,093	1,753	338	108
22	799	188	654	106	70	3,375	1,675	353	117
24	800	181	658	110	77	3,657	1,622	330	87

(注) 医師・歯科医師・薬剤師は登録者の届出数，その他は就業者数  
昭和57年以降は隔年調査  
各年12月末現在

## 3 人口10万人対でみた指標

### (1) 医療施設数，率

(平成25年末現在)

区分	施設数	率		
		函館市	北海道	全国
病一般診療院 歯科診療所	29	10.6	10.5	6.7
	218	81.2	62.0	78.5
	132	49.4	55.2	53.7
病床・精神病床 (病院)・結核病床 ・感染症病床 ・療養病床 ・一般病床	1,382	523.9	379.5	268.4
	40	14.6	6.6	5.7
	6	2.2	1.6	1.4
	1,014	370.7	421.7	257.9
	3,911	1,448.1	977.3	704.4
病床(一般診療所)	514	189.4	134.9	98.5

(注) 率については，平成24年10月1日現在の数字である。

### (2) 医療関係者数，率

(平成24年末現在)

区分	関係者数	率		
		函館市	北海道	全国
医歯科医師 薬剤師	800	287.8	235.4	237.8
	181	65.1	81.8	80.4
	658	236.7	193.9	219.6
保健師 助産師 看護師 准看護師 歯科衛生士 歯科技工士	110	39.6	52.6	33.2
	77	27.7	29.0	25.0
	3,657	1,315.5	999.2	796.6
	1,622	583.5	371.5	280.6
	330	118.7	94.0	84.8
87	31.3	36.1	27.1	

(注) 医師・歯科医師・薬剤師は登録者の届出数，その他は就業者数，隔年調査

# 保健所事業概要

平成26年(2014年)版

平成26年10月発行

編集発行 市立函館保健所地域保健課

〒040-0001 函館市五稜郭町23番1号

TEL (0138) 32-1512

FAX (0138) 32-1505

URL <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014092600053/>